

2020
VOL.04



筑波大學台灣校友會會刊
UNIVERSITY OF TSUKUBA
TAIWAN ALUMNI ASSOCIATION COMMUNICATIONS

Contents 目次

会長挨拶

- 2 校友会会報の第4号発刊にあたって

筑波大学から

- 4 筑波大学学長挨拶
- 6 沿革
- 8 募金要項

校友会活動報告

- 10 筑波大学台湾校友会第4回総会
- 11 台湾大学海外留学フェア
- 12 台湾人若手カフェ

校友紹介

- 14 台湾版画史中の廖修平
- 32 陸羯南と台湾日日新聞—「司馬遼太郎からの宿題」の宿題（前編）
- 38 台湾「競技かるた」、世界大会への道
- 46 台南レポート
鹿角枝、国立成功大学博物館

留学生だより

- 50 筑波大学に留学して
- 51 TIASについて

校友交流

- 52 筑波大学台湾校友会親睦会

台湾オフィス報告

- 54 筑波大学台湾オフィス便り
- 56 筑波大学校友会規約
- 58 編集後記

會長的話

- 3 會長的話

筑波訊息

- 5 校長的話
- 7 校史沿革
- 9 捐款

筑波大學活動報告

- 10 筑波大學台灣校友會第四屆總會
- 11 台灣大學海外留學展
- 13 台灣年輕人座談會

校友寄語

- 15 台灣版畫史中的廖修平
- 33 陸羯南與台灣日日新聞—「來自司馬遼太郎課題」的大課題（前篇）
- 39 台灣「競技歌牌」，前進世界大賽
- 47 台南專題報導
鹿角枝、國立成功大學博物館

學生寄語

- 50 筑波大學留學心聲
- 51 TIAS

校友交流

- 52 筑波大學台灣校友會共聚一堂

台灣辦事處報告

- 55 筑波大學台灣辦事處
- 57 筑波大學台灣校友會章程
- 58 編輯後記

校友会会報の第四号発刊にあたって

文 ● 筑波大学台湾校友会会長 林華章（体育研究科 台湾体育運動大学学長）

筑波大学台湾校友会会長の林華章です。昨年の第3号に続き、校友会として会報第四号を皆様にお届けすることができ、大変嬉しく思っております。2016年2月20日に発足した筑波大学台湾校友会は、今年2月22日をもって第五回目の総会を迎えることとなります。昨年の総会には、約50名の校友の皆様、本学の永田恭介学長、ベントン・F・キャロライン国際担当副学長、金保安則産学連携担当副学長をはじめとする筑波大学関係者の臨席をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

第五回総会は今年の2月22日に開催すべく準備を進めて参りましたが、大変残念なことに新型コロナウィルスの影響により中止を余儀なくされてしまいました。来年は総会及び懇親会において校友の皆様と旧交を温めることができますように祈念致しております。

昨年も、本会報にありますよう、校友同士の懇親会、筑波大学との交流など様々な活動に取り組んで参りました。

また、昨年も記しましたが、本校友会では、以下の点を心がけて、校友の皆様との親睦を図って行きたいと考えています。

（1）筑波大学およびその前身となる学校に在籍した校友を対象としていること

筑波大学は1872年に東京高等師範学校としてその歴史が始まり、東京文理科大学（1929年）、東京教育大学（1949年）を経て、1973年につくば市に本部キャンパスを移して筑波大学となりました。本校友会は、このような筑波大学の歴史を踏まえ、

筑波大学およびその前身となるすべての大学・組織に所属した校友の集う会を目指しています。

（2）台湾人、日本人を問わず、台湾在住の方を対象としていること

本会の幹事会にも、台湾人と日本人の校友に参加いただいています。国籍を問わず校友同士が共に盛り上げていく校友会を目指しています。

（3）校友同士の親睦、および、台湾と日本との相互交流と友好発展に寄与すること

校友同士の懇親会、筑波大学と台湾の交流支援などを企画実施していきます。本会報もその一助となれればと考えています。皆様の方で活動企画などありましたら、是非幹事会へご連絡ください。校友の皆様と情報共有するとともに協力して活動していきたいと考えています。

（4）これまでの校友活動に敬意を払うこと

本学の147年に渡る歴史の中で、様々な先輩・後輩の方々が、校友間の親睦や筑波大学との交流に貢献されてきました。このような活動に敬意を払い、また校友間でこれまでの活動を共有するためにも、本会報などに取り上げて行きたいと考えています。是非とも御寄稿ください。

会則および幹事については本会会則をご覧ください。

本会をより良いものにしていくため、皆様のご意見をお待ちしております。

私または幹事会へご連絡いただけますと幸甚です。

筑波大学台湾校友会 会長（初代） 2020 年吉日

會長的話

文 ● 筑波大學台灣校友會會長 林華章（體育研究科 臺灣體育運動大學校長）

我是筑波大學台灣校友會會長林華章。承續著去年第三期的發行，今年我也非常高興能看到這本校友會第四期的會刊，能順利出版，交到各位校友們的手上。

2016年2月20日創立的筑波大學台灣校友會，去年有約50位校友熱情參與，筑波大學的校長永田恭介、國際副校長Benton Caroline Fern、產學合作副校長金保安則等也親臨到場給我們指教，僅此致上由衷謝意。

原本計畫今年的2月22日將要迎接第五次總會活動，但因應武漢肺炎疫情延燒，很遺憾此活動取消，希冀明年能再度舉辦總會活動，與各位校友歡聚。過去一年，台灣校友會就像本會刊所載，除了校友們之間的聯誼聚餐等，也和筑波大學之間舉辦了許多各式各樣的交流活動。去年的會刊上我也提到過，但再此重申本校友會的成立目的在於促進校友之間的交流，故以下幾點要在此特別跟大家說明：

（1）本校友會の入會資格，以筑波大學及前身大學校友為對象。

筑波大學始於1872年創校之東京高等師範學校，經歷了東京文理科大学（1929年）、東京教育大學（1949年）的時代，於1973年把校本部移到筑波市，以此地為名而成立了筑波大學。故本校友會以此歷史的軌跡為本，以集合筑波大學及前身之所有大學之校友為目的而設立。

（2）不分國籍，以居住在台灣的校友為對象。

以本校友會的幹事會為例，台灣的校友和日本的校友皆擔任幹部，不分國籍，一同



為台灣校友會的活動盡心盡力，以融合不同國籍的校友為目的而設立。

（3）以增進校友間的感情，加強台灣與日本間相互的交流與發展為目的。

將策劃校友間的聯誼活動，並支援筑波大學與台灣之間的交流，本次發行之會刊，即為此目的而策劃，希望能對促進聯誼有所助益。諸位校友若有其他活動企劃的想法，也煩請跟幹事會聯絡。願校友們都能在共有共享的基礎上，互助合作，為本校友會的活動增添色彩。

（4）向歷來的校友會活動致敬。

在母校147年悠久的歷史中，有些校友先進為校友活動貢獻良多，在此向歷來的校友會活動參與人員，致上最高的敬意與最深的感謝。為了與所有校友們分享校友會在此一年間的交流活動，我們每年將其編輯成冊，在此歡迎各位校友不吝惠賜稿件，在會刊的取材與內容方面，也歡迎隨時提供我們寶貴的意見。

另外，也將台灣校友會的章程附載於本會刊中，還請各位會員務必過目。

各位會員的賜教都將促進本會的成長，有任何意見都請直接與我或幹事會聯絡，再次謝謝各位。

筑波大學台灣校友會 會長 2020 年吉日

筑波大学は、1872年に明治政府によって我が国で最初の高等教育機関として創立された師範学校を創基として、東京教育大学に至る歴史を経て、1973年に「新構想大学」として誕生し、2023年に創基151年、開学50周年を迎えます。

本学は、あらゆる面で「開かれた大学」という建学の理念のもと、従来の観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現するために、「不断の改革」を進めてきました。本学の前身である東京高等師範学校の校長であった嘉納治五郎氏は近代柔道の父として名を知られていますが、それ以上に重要なことは理想に溢れた優れた教育者であり、日本の高等教育を国際社会に開いた先駆者であったということです。また本学は総合大学としては他に例を見ない幅広い学問分野を有しており、専門分野を深化させながら、新たな学際融合・横断的な教育研究を積極的に開拓してきました。

現在、私たちを取り巻く環境は、激変するグローバル社会の中で、混乱の度合いを増しています。グローバル社会の中では、国際紛争・テロリズム、感染症あるいは経済・金融問題などを例に取るまでもなく、問題は国境を超えて瞬く間に広がっていきます。エネルギーや環境の問題、産業と経済の活性化の問題など、解決すべき課題は地球規模で共有しなければならない問題であり、解決に向けては従来型の発想を越えたイノベーションが必要です。

これらを解決するために、本学には教育、研究、およびそれらを基盤とした社会貢献が求められています。研究学園都市で新構想大学として出発した本学は、先端的な研究教育拠点、知の国際連携活動拠点、そして我が国の産官学協働の拠点として育ってまいりました。今後は、本学は持てる力を結集して、地域と地域社会、国と国民、世界と人類の公益に資する開かれた大学として努力を続けてまいります。そのためには、共に進む卒業生や関連する企業などの皆様からのご指導、ご鞭撻が必要です。

こうした思いの実現に向けて、「世界トップレベルの研究支援」、「国際交流とグローバル人材の育成支援」に関する支援のための「創基151年筑波大学50周年記念基金」を創設いたしました。つきましては、全てのステークホルダーの皆様に記念基金の趣旨をご理解いただき、記念基金へのご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

国立大学法人筑波大学長

永田恭介

ごあいさつ

筑波大学は1872年明治政府時期我が国最初的高等教育機関一師範学校を創基として、東京教育大学の段階で、1973年に「新構想大学」を創設した。2023年創設151年、本校は創設50周年を迎える。

本校は「開放性大学」を基礎建校理念として、率先して既成の教育観念の拘束を脱し、「弾力性調整的教育研究組織」を構築し、また次世代が求める「革新的な大学体制」を、この理念「不断の改革」を通じて実現する。これまで本校の前身である東京高等師範学校校長の嘉納治五郎校長は、近代柔道の父として知られるだけでなく、日本の高等教育を国際社会に開いた先駆者であり、また学問分野を横断的に開拓してきた。本校は、学問分野を横断的に開拓してきた。本校は、学問分野を横断的に開拓してきた。



現在、私たちを取り巻く環境は、激変するグローバル社会の中で、混乱の度合いを増しています。グローバル社会の中では、国際紛争・テロリズム、感染症あるいは経済・金融問題などを例に取るまでもなく、問題は国境を超えて瞬く間に広がっていきます。エネルギーや環境の問題、産業と経済の活性化の問題など、解決すべき課題は地球規模で共有しなければならない問題であり、解決に向けては従来型の発想を越えたイノベーションが必要です。

これらを解決するために、本学には教育、研究、およびそれらを基盤とした社会貢献が求められています。研究学園都市で新構想大学として出発した本学は、先端的な研究教育拠点、知の国際連携活動拠点、そして我が国の産官学協働の拠点として育ってまいりました。今後は、本学は持てる力を結集して、地域と地域社会、国と国民、世界と人類の公益に資する開かれた大学として努力を続けてまいります。そのためには、共に進む卒業生や関連する企業などの皆様からのご指導、ご鞭撻が必要です。

こうした思いの実現に向けて、「世界トップレベルの研究支援」、「国際交流とグローバル人材の育成支援」に関する支援のための「創基151年筑波大学50周年記念基金」を創設いたしました。つきましては、全てのステークホルダーの皆様に記念基金の趣旨をご理解いただき、記念基金へのご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



1872

● 5月29日、
東京に師範学校設立。

1886

●東京師範学校は高等師範学校と改称



1893

● 嘉納治五郎、校長に就任。



1920

●東京箱根間往復駅伝競走大会優勝

金栗四三が設立した、東京箱根間往復駅伝徒歩競争大会(現在の箱根駅伝)第1回で東京高等師範学校が初優勝を飾った。

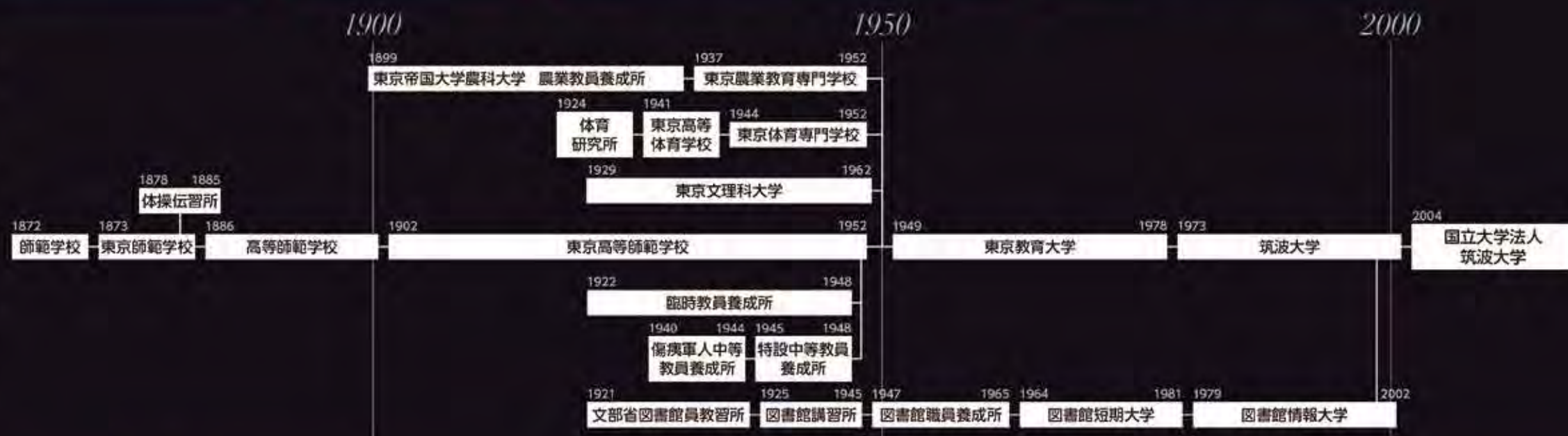


1929

●東京文理科大学設置。



筑波大学の起源は1872年、日本初の教員養成機関として発足した「師範学校」にさかのぼります。それから107年、東京教育大学の移転を契機に、よき伝統と特色を生かしながらも、わが国ではじめて抜本的な大学改革を行い、1973(昭和48)年に「開かれた大学」を建学の理念に総合大学として発足しました。開学から40有余年、筑波大学は初心を忘れず、しかもつねに時代を先駆ける大学を目指して不断の改革を続けています。



1949

- 国立大学設置法(昭和24年法律第150号)により東京教育大学設置。



1956

朝永振一郎、学長に就任。
東京教育大学第2代学
長。1965年、ノーベル
物理学賞受賞。くりこみ
理論の発明により、量
子電気力学の発展に寄
与。1969年、東京教
育大学名誉教授に就任。



1973

- 国立学校設置法等の一部を改正する法律(昭和48年法律第103号)により筑波大学を設置。



1992

江崎玲於奈、学長に就任。
筑波大学第5代学
長。1973年、ノー
ベル物理学賞受賞。
現代のエレクトロニ
クスの基礎を担う半
導体物理学分野の
発展に寄与。1998
年、筑波大学名誉
教授に就任。



2004

● 国立大学法人法
(平成15年法律
第112号)により国
立大学法人筑波
大学を設置。

1. 名称 ——— 「創基151年筑波大学50周年記念基金」

2. 目標金額 ——— 10億円

3. 募集期間 ——— 2024年3月31日まで

4. 支援内容 ——— ●研究支援・人材育成支援[世界トップレベルの研究支援]

幅広い学問分野において、真理を深く探求する研究と、研究成果の社会還元を目指す研究の両面において、世界トップレベルの最先端研究を展開する。
また、最先端研究とともに基礎研究を着実に実施する。



●国際交流とグローバル人材の育成支援

日本人学生の海外留学支援、優秀な留学生に対する経済支援、学術研究水準の向上とグローバル人材の育成を支援する。

5. ご寄附の方法 — (1)お振り込みによるご寄附[銀行・郵便局]

所定の振込用紙に必要事項をご記入の上、お近くの金融機関の窓口にお出してください。

(2)オンライン決済によるご寄附

[クレジットカード決済、インターネットバンキング決済(ペイジー)、コンビニ決済]

「筑波大学基金ウェブサイト」よりお申し込みください。

<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>



6. 顕彰・特典 ———

●寄附者銘板● 個人で10万円以上、法人で50万円以上のご寄附(累計額)を賜りました方につきましては、大学会館エントランスホールにご置きます「筑波大学基金寄附者銘板」にご芳名を刻み、末永く顕彰させていただきます。(ご希望の方のみ)

●感謝状の贈呈● 個人で10万円以上、法人で50万円以上のご寄附(累計額)を賜りました方につきましては、感謝状を贈呈させていただきます。

●記念品贈呈● 募集期間中、各年度内個人で3万円以上、法人で10万円以上のご寄附を賜りました方につきましては、御礼として、本学関連商品等を贈呈させていただきます。



寄附者銘板

1、名稱 「創基151年筑波大學50週年紀念基金」

2、目標金額 10億日幣

3、募集期間 2024年3月31日為止

4、支援内容

●研究補助與人才培育「世界頂尖研究支援」

在廣泛的學術分野中，開展世界頂尖最先進的研究，一方面探求深入真理，另一方面也能將研究成果回饋社會，在最先進的研究與基礎的研究兩方面都能夠確實的推進。



●「國際交流與跨國人材的培育支援」

支援日本學生到國外留學、優秀的留學生到日本的經濟支援、提升學術研究水準與國際人材培育之支援。

5、捐款方式

(1) 匯款{銀行或郵局}

在匯款用單上填入必要事項後，就近到金融機關匯款。

(2) 線上付款

{信用卡付款、線上電子付費Pay-easy、便利商店付款}

到{筑波大學基金官網}上申請：

<http://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>



6、表彰

●捐款者芳名● 個人捐款10萬日幣以上或法人捐款50萬日幣以上(累計)，將在筑波大學大學會館的穿堂「筑波大學基金捐款者芳名錄」上刻上芳名以茲感謝。(有此意願者)

●感謝狀● 個人捐款10萬日幣以上或法人捐款50萬日幣以上(累計)，將贈贈感謝狀。

●紀念品● 募款期間，各年度個人捐款在3萬日幣以上或法人捐款10萬日幣以上，本校將贈與紀念品以茲感謝。

筑波大学台湾校友会 第4回總會報告

2019年3月16日に第4回筑波大学台湾校友会が台北福華大飯店で行われました。約50名の校友が出席し、筑波大学からは永田恭介学長、ベントン・キャロライン副学長、金保安則副学長にご臨席いただきました。その他、活動報告、予算、会則、役員の承認に続き、渡邊浩志氏（自然学類、物理学研究科）、鐘有輝氏（筑波大学芸術研究所 美術専攻）に在学中の思い出を写真とともに



にご紹介いただきました。また、筑波大学留学説明会や親睦会を催し、それぞれに歓談と交流に花を咲かせました。

筑波大學台灣校友會 第四屆總會報告

2019年3月16日第四屆筑波大學台灣校友會於福華大飯店舉行。約50名校友出席大會。筑波大學由永田恭介校長、Caroline Fern Benton副校長、金保安則副校長親自來台，給我們指導與勉勵。總會當天也進行了年度活動報告、預算報告、大會守則、幹部介紹等會程。大家最期待的「今昔物語」的時間，邀請到了自然學類物理研究科畢業的渡邊浩志學長，他從在日本的就業時期的故事開始，深入淺出的介紹了科技業的開發研究，而他一路走來，特

別的緣分讓他來到了台灣，現任職於交通大學電機系，長住台灣。另外一位是筑波大學藝術研究所的鐘有輝學長，第三期的會刊不但因為他精采的版畫更加豐富，他也和大家分享一張張的老照片，在座的校友們都跟著進入懷舊的情緒，回憶起在筑波大學時美好回憶。比照往例，這次也在總會前，由筑波大學台灣辦事處主辦了筑波大學留學說明會，校友們也在總會後的聯誼餐會時把酒言歡，一同珍惜這份難得的情誼。

台湾大学海外留学フェア報告

2019年11月9日に台湾大学海外留学フェアに参加しました。今回は学生活動センターと総合教学棟にほど近い総合図書館前の広場にブースを設置しました。説明会は、総合教学棟の講堂（思亮館）で行いました。気持ちのいい晴天に恵まれ、ブースを訪れる人の足も絶えることがありませんでした。

台湾オフィスの2名のスタッフに加え、筑波大学から福重瑞穂先生、小林香織さん、井口蘭さんがお手伝いに来てくださいました。また、筑波大学への交換留学経験がある台湾大学の日本語文学系の梁嘉雯さん（台湾校友会メンバーの服部美貴先生の学生さんでもあります）と外国

語文学系の王之安さんも、ブースで留学希望者たちに筑波での学生生活について丁寧に説明したり様々な質問に親身に答えたりしてくださって、参加者からも大好評でした。

筑波大学の魅力を伝えるこのような機会を与えてくださった台湾大学に感謝いたします。



台灣大學海外留學展

2019年11月9日，我們參加了台灣大學的海外留學展。這次和往年不同，參展的地點不是在室內，姊妹校攤位規劃在戶外，位於總圖書館前的活大前的人行道旁，以及小椰林道綜合教學館前方，而說明會則是在綜合教學館的錢思亮講堂內舉辦。所幸當天是個很舒適溫暖的晴天，來參觀台大海外留學展的人潮絡繹不絕。

當天除了台灣辦事處的二位同仁，還有遠從筑波大學來台幫忙的福重瑞穂教授、小林香織與井口蘭小姐，另外還有前

年到筑波大學交換的二位台大的學生，一位是日文系梁嘉雯同學（也就是我們的校友服部美貴老師的學生）另一位是外文系王之安同學，一起在我們的攤位幫忙，詢問交換生相關的同學十分踴躍，多虧了這二位同學的幫忙，把親身經驗與來攤位的同學分享，內容具有相當高的參考價值。另外我們在綜合教學館內，舉辦了獨立的大學說明會，也吸引了對筑波大學有興趣的學生來參加，感謝台灣大學給我們這個機會宣傳自己。

第3回台湾人若手カフェ ～リサーチとキャリアパス～

2019年12月7日に今回3回目の台湾人若手カフェ～リサーチとキャリアパスを筑波大学で開催し、およそ40名が参加しました。開会の挨拶は、筑波大学台湾留学生会顧問である真田久先生がされ、午前のリサーチカフェでは、国立台湾大学の袁子軒先生により大学教員になるための道のりや大学教員になる意義について講演し、続いて、農学系、芸術系、工学系の留学生がそれぞれ興味をひく研究発表をしてくださいました。多くの質問や意見交換により活発な議論がされ、このイベントを盛り上げました。

午後のキャリアパスカフェでは、本学の卒業生または修了生の中から、作家老侯氏、芸術家陳芄宇氏、企業人許漢修氏、林玟侑氏と蔡馥亘氏に講演していた



できました。主に日本を拠点にし、生活しながら、台湾や世界へ羽ばたく皆さんの姿はエネルギーに輝いていました。このイベントのために久しぶりに本学を訪ねた卒業生を含め、参加者同士でいくつかの輪を作り、情報交換、近況交換をして歓談を楽しまれていました。日本での絆が校友会につながっていくよう、台湾オフィスはこれからもサポートしていきます。



第三屆台灣年輕人座談會 ～喝咖啡聊研究與求職就業分享會～

2019年12月7日，我們在筑波大學舉辦了第三屆台灣年輕人座談會：喝咖啡聊研究與求職就業分享會，約有40名師長同學來參加。我們邀請到台灣留學生的顧問真田久教授來為我們開場致詞，上午的「喝咖啡聊研究」中，首先登場的是台大的袁子軒教授，他和大家分享他的學術之路與在大學任教的意義。接下來有農學院、藝術學院、工學院的台灣留學生，分別與大家分享了各自的研究。之後的問與答時間大家很熱烈的提問，交換了許多寶貴的意見。

下午的「求職就業分享會」請到了名作家老侯、藝術家陳芄宇、企業界的許漢修、林玟侑、蔡馥亘與我們分享了在日本生活的點滴，這些在各領域發光發熱的畢業生令在座師長同學都深感與有榮焉。為了這些的活動，他們很難得的在畢業後再度回到母校來，很難得能與在場的學弟妹互動，並交換各種資訊。在校生和留在日本的校友之間的連結，將來也期望能延伸到台灣校友會，而台灣辦事處也將盡全力支持這個活動。



台湾版画史中の廖修平

文・味岡義人（『台湾の心・台湾の情—廖修平・江明賢二人展—』より転載）

明清時代

台湾がポルトガル船により発見され美麗島と呼ばれたのが16世紀末、以後、スペイン、オランダがここを根拠地として貿易を行った。台湾に中華民族が本格的に定住するようになったのもこの頃からであり、沿海の福建（閩）、広東（粵）から移ってきた者たちが主であった。明末、鄭成功がオランダ人を駆逐、反清復明の根拠地としたが、鄭氏は1683年に清朝に降り、以後、中国の辺陲の地として、その文化圏の一角を占めることになる。但し、台湾の文化、宗教、風俗は当然ながら閩粵のそれを継承するものであった。台湾で行われた版画は、民間の日常生活に用いる実用的なもの、例えば小説中の挿図としての版画や画譜、門神や寺廟の宗教的行事に用いられるものなどであった。その種類こそ多く、民俗的、地方的色彩こそ濃厚ではあったが、当時において、それは印刷物と言うべき物であって、美術品と意識される物ではなかったというのが実情であろう。

日本統治時代

清朝は日清戦争に敗れ、台湾を日本に割譲した。日本統治時代には、日本的、いいかえれば西洋的な美術教育が行われ、従来からあった中国画に加えて、水彩・油彩・日本画（日治時代は東洋画と称され、現在はその素材から膠彩画という）が広く描かれるようになり、更にいうならば従来の

中国画は停滞の方向にさえ向かった。台湾には美術専門の学校が設立されなかったため、日本やフランスに留学するのが美術を志す者の道であった。そうした中から陳澄波、劉啓祥、李石樵、林玉山、陳進、郭雪湖などの優れた台湾人画家が輩出した。彼らは、日本の帝展に倣って開催された台展で活躍し、また、日本本土における帝展などに入選している。

但し、版画に就いてみるならば、依然として、旧来の実用的版画が主であった。そうした中で、版画は、台湾の民俗、生活習慣を記録にとどめる手段として利用されたことが特筆される。日本人画家立石鉄臣が編集に加わった「民俗台湾」（1941年7月～1945年1月）では、101幅の「台湾民俗図絵」が発表され、台湾各地の民俗・風景が記録された。日本の詩人西川満が発行した「媽祖」（1934年10月～1938年3月）では第五期が「版画号」、第二巻第二期号は「百花春—詩と版画号」として立石や宮田弥太郎、福井敬一、谷中安規、川上澄生などの作品が紹介されている。こうした、日本人版画家の活動や作品の紹介が行われた時代の1936年に廖修平は台北に生まれ、成長していった。彼が生まれ育ったのは、萬華の龍山寺付近。彼が日本人作家の版画を見たことがあるか否かは不明だが、門神などの民間宗教的な版画を見て育ったことは間違いなく、更にいえば、そこに漂う濃厚な宗教的な空気を極めて多量に吸収し育ったものと考えられる。

臺灣版畫史上的廖修平

文・味岡義人（本文自「台灣的心・台灣的情-廖修平・江明賢雙人展」轉載）

光復後の版画—1940年代後半から50年代

1945年、日本は敗戦により台湾を放棄、中華民国が接收し、半世紀にわたった日本の殖民地統治は終りを告げる。台湾の文化はこれ以後、中華民族を中心とする文化に回帰することになる。国民政府の官員などとともに、大陸からは少なからざる水墨画家が来台してきた。日本統治時代の教育を受けた台湾人画家たちとの間に国画論争が起こるのは、間もなくのことであった。

大陸では魯迅の推進した木刻版画が発展し、抗日戦争中には一つの宣伝媒体として重要な役割を果たしていたが、こうした版画制作に関わった版画家たちが国画家たちとともに、新聞の編集や教員としてやってきた。主要な人物として、黄荣燦（1916~1956）、陳庭詩（1916~）、朱鳴岡（1915~）などの名があげられる。彼らの版画は、大陸における魯迅以来の木刻版画の系譜につらなるもので、技法的には木刻の単色であり、写実的で社会性の強いものであった。1947年に日本統治時代に活躍した画家陳澄波をはじめとする多くの台湾知識人が虐殺された二二八事件が勃発するが、彼らはこの事件を題材として多くの作品を残してもいる。しかし、大陸から移ってきた版画家たちは、大陸における内戦の影響、本質的に左翼的傾向を有していたために種々の迫害を受け、多くが大陸へ戻っていった。

1949年に国民党政権が遷台してくると、再び、彼らとともに、溥儒や黄君璧など多くの画家が台湾に遷ってきた。その中には方向（1920~）、江漢東（1925~）、陳其茂（1926~）などの版画家がいた。但し、彼らの作品も依然として木刻単色の、写実的で社会性の強いものであった。

この時期、廖修平は多感な青年時代を送っている。1948年、大同中学に入学。その容貌から「ガンジー」と渾名されたという廖修平は、呉棟材から正式に絵画を学び、1954年には19歳で全省美展に入選を果たす。その翌年には師範大学美術系に進学、同期には王秀雄、謝里法、傅申、陳瑞康、張光遠、王家誠、蔣健飛など「将官班」と称されるほどに優れた人材がそろっていた。師範大学では陳慧坤、孫多慈、袁枢真、廖継春に学び、課余には李石樵の下に通って研鑽を積み、台陽展や全国美術展覧会などに油彩作品を出品している。

1960年代—版画家としての出発

戦後の混乱が収まった50年代前半、美術の主流はアメリカに移り、デ・クーニング、ポロックなどに代表される抽象表現主義が世界美術の潮流として広がりを見せていった。政治的に米国の影響下にあった台湾では、美術の分野でも米国への傾倒が見られるようになる。

こうした中で、何鐵華や李仲生の影響下、新たな藝術運動が展開を見せていった。1957年には「東方」、「五月」の二つの画会が組織され、台湾現代美術の展開に大きな影響を与えた。その後の台湾美術の展開は大陸における美術の展開とは全くことなるものであり、日本統治時代の50年間同様に、台湾本土独自の美術が形成されていくことになる。

そうした潮流の中で、版画もまた、時代を風刺するといった社会的性格の濃厚なものから、個人の内面性を追求するものへ、具象から抽象へと変化していったのは当然の帰結であった。1958年には、10名の米国

明清時代

16世紀末葉臺灣被葡萄牙船隻發見，稱之為美麗島，以後西班牙人、荷蘭人等相繼以此為根據地從事貿易工作。此時期也正是中國人移民臺灣之始，其中以閩粵沿海地區的居民為主。明末鄭成功趕走荷蘭人以此為反清復明的根據地，雖然鄭氏1683年降清，且台灣地處邊隅，但臺灣仍屬於中國文 圈之一。臺灣的文化、宗教、風俗習慣等均承繼閩粵地區的形式。當時臺灣的版畫只見於民間的日用品中，例如小說中的插畫、畫譜以及門神、寺廟祭祀用的銀紙等，種類繁多，帶有濃厚的地方色彩與民間的風俗習慣樣式，只能說之為印刷品，沒有美術品的意識型態。

日本統治時代

中日甲午戰爭之後，臺灣被割讓給日本。日據時代，日本施行西式美術教育，除了傳統的中國畫以外，一般還有水彩畫、油畫、日本畫（日據時代稱為東洋畫，現在稱為膠彩畫），但當時傳統的中國畫反而有停滯的現象。臺灣沒有專門的美術院校，所以想學美術的人必須去日本或法國等地留學，至仍產生了陳澄波、劉啟洋、李石樵、林玉山、陳進、郭雪湖等傑出的臺灣人畫家。他們活躍在仿日本帝展的臺展畫壇上，同時也在日本國內的帝展上得獎入選。

但在版畫藝術上，依然是以舊時的實用日常用品版畫為主，版畫上為記錄臺灣民俗、生活習慣的手段。日本人畫家立石鉄臣編輯的「民俗台灣」（1941年7月~1945年1月）中有101幅的《臺灣民俗圖繪》，記錄了臺灣全省的民俗和風景。日本詩人西川滿發行的「媽祖」（1934年10月~1938年3月）第五期「版畫號」和第二卷第二號「百花春—詩



1977-1979 筑波大学で授業
筑波大學授課

和版畫號」中介紹了立石、宮田彌太郎、福井敬一、谷中安規、川上澄生等人的版畫作品。日本人版畫家的活動及作品被介紹當世人的1936年，廖修平在臺北市出生。他成長的地方在萬華龍山寺附近，他是否曾經看到日本人作家的版畫作品，不得而知，但他一定看過門神等民間宗教版畫，甚至可說他應該是在濃厚的宗教氛圍裡長大的。

光復後の版畫—1940年代後半至50年代

1945年，日本敗戰，臺灣回歸中華民國政府統治，半個世紀的日本殖民地統治終告結束。臺灣文化從此回歸於中華民族文化。與國民政府一起從大陸到臺灣的水墨畫家為數不少，他們不久即與受日本教育的臺灣畫家因國畫論爭而起衝突。

當時在大陸魯迅提倡木刻版畫，抗日戰爭中這種木刻版畫印刷成宣傳媒體發揮了很大的功能。參與這些版畫制作的版畫家和國畫家們多從事報紙編輯或教員和國民政府一起來到臺灣。主要人物有黃榮燦（1916~1956）、陳庭詩（1916~）、朱鳴岡（1915~）等人。他們的版畫作品是繼承大陸魯迅以來的

版画家と台湾の秦松、江漢東による「中米現代版画展」が開催され、年末には秦松、江漢東、楊英風、陳庭詩、李錫奇、吳昊らにより「中米現代版画会」（会長：秦松）が創設される。翌59年10月には第1回展が開催され、これまでの写実的な表現から脱却した大胆な作風が展開されていった。年末に開かれた第5回サンパウロ・ビエンナーレでは秦松が受賞したのをはじめとし江漢東、陳庭詩、李錫奇、吳昊などが入選を果たしている。台湾の版画が国際的に認められたはじめてであった。

60年代の台湾版画は、この中国現代版画会の主導のもとに展開していく。版画は一つの現代美術の表現形式として認知され、第6回サンパウロ・ビエンナーレでも江漢東、陳庭詩、李錫奇、吳昊が入選するなどし、国際的に台湾版画の地位を確立していった。

廖修平が大学を卒業したのは1959年、師範大学であったことから教員生活を送ることになるが、この年の第14回全省美展では西画類の第一名を受賞している。1961年には兵役に服するが、制作を中断することではなく、1959年に結成された李石樵の学生を中心とする今日画会に作品を発表し続けた。そして、兵役を終えた1962年、日本の東京教育大学に留学（翌年、王秀雄も東京教育大学に留学）、大学では、松木重雄の下で学び、秋には、日展に出品し入選を果たしている。台湾人画家としては戦後はじめての日展入選者であった。同時に、廖修平は父の廖欽福が建築業であったために、個人的に東京教育大学教授であった高橋正人が主宰していた研究所に通い設計と構成原理を学んだ。これが、後の彼の版画に大

きな影響を与えているのはいうまでもない。

当時の東京では、ピカソやシャガール、ダリなどの版画作品を眼にすることが多く、また、日本版画の多様な表現技法が、木刻中心の台湾版画しか知らなかった彼の眼を大きく開かせた。しかし、当時の東京教育大学には版画の講座がなかったために、廖は北岡文雄、星襄一などのもとに通い個人的に教えを受けることになる。1963年には日本版画協会展に出品、また、同年のサンパウロ・ビエンナーレには《墨象連作A》が入選する。廖修平の版画家としての第一歩は東京から始まった。

1964年冬、廖修平は日本からパリに向かった。廖修平に先立って、陳錦芳と謝里法がパリに来ており、3人は毎日のように連れ立って画廊とカフェを廻り、自ら「三剣客」と称していたという。後年、彼らは基金を設け、後進のパリ留学に対し奨学金を給している。翌年、廖修平はパリの藝術学院に入学、シャステルの下で油彩を学び、



1981 学生たちとアメリカへ版画研修
學生們赴美研修版畫



1966_門
門

木刻版畫系統，技法上是單色木刻，形式上寫實，有強烈的社會性。1947年的二二八事件，很多臺灣的知識分子被殺，其中包括日據時代活躍在畫壇上的陳澄波，他們也多以此事件為題材留下了很多作品。但是從大陸來臺灣的版畫家們，他們受大陸國共內戰的影響，本質上有左傾的思想，在臺灣受到種種迫害，因此他們中的多數就返回大陸去了。

1949年國民黨政權遷臺，浦儒、黃君璧等畫家也多遷移到臺灣，其中有方向(1920～)、江漢東(1925～)、陳其茂(1926～)等版畫家。但是他們的版畫作品仍然是單色木刻，帶有強烈的社會性和寫實性。

在這期間，廖修平正是多愁善感的青春時代。1948年進入大同中學，綽號”甘

地”的廖修平正式拜吳棟材為師學習繪畫，1954年19歲那年榮獲全省美展入選。第二年考上師範大學美術系，同期中有王秀雄、謝里法、傅申、陳瑞康、張光遠、黃家誠、蔣健飛，英才共學等人才濟濟，被稱為“將官班”。在師範大學就學時向陳慧坤、孫多慈、袁樞真、廖繼春等位先生學畫，課餘時向李石樵請教鑽研，同時在臺陽展、全國美術展覽會中以油畫作品參展。

1960年代一版畫家廖修平的誕生

戰後的混亂平定下來以後的50年代前期，世界美術的重心轉移向美國，杜庫寧、帕洛克等為中心的抽象表現主義蔚成世界美術的主流。政治上受美國影響下的臺灣，在

サロン展に出品した《巴黎旧牆》で銀賞を獲得している。しかし、シャステルからは「東洋の伝統文化の特色を描くことに努める」よう忠告を受け、彼の作品の方向性が定まっていた。一方で、秋からはヘイターの主宰する版画17工作室で本格的に版画の各種技法を習得した。1968年、当時のパリは学生運動が盛んで様々な困難が生じたことから、廖は世界美術の潮流の中心となっていたニューヨークに移り、プラット版画中心で研究を重ねることとなる。

1970年代—台湾版画的多样化

1966年、台湾省立博物館で廖修平の版画

作品による個展が開催された。《七爺八爺》、《雙喜》、《廟内》などの台湾の寺廟を主題とし、台湾本土の色彩を用いた一版多色のエッチング作品は、従来の単色の木刻版画しか知らなかったともいえる台湾の人々の目を覚ますものであった。更に、1971年にはプラット版画センターで学んだ謝里法がシルクスクリーンと写真併用の作品を発表する。同年にはハワイから許漢超が台湾師範大学客員教授として帰台、シルクスクリーンの制作を指導することにもなる。1970年には方法、陳其茂、李錫奇、韓明哲など様々な世代の版画家達により「中華民國版画学会」が結成され、70年代、台湾版画は多様化の時代に突入していった。1973年、廖修平は台湾政府の要請により帰国、国立台湾師範大学客員教授に招かれ、また、国立藝專や文化大学でも学生の指導にあたる一方で、台湾全土を回り小中学校の教師や画家達に版画の多様性を広めることに努めた。1974年には、十大傑出青年獎を受賞、これを記念して彼に学んだ鍾有輝、林雪卿、董振平、林昌徳、黄国全、謝宏達、楽亦萍、曾曬淑、崔玉良、何麗容らが十青版画会を結成した。彼ら

美術方面也傾向美國。當時在何鐵華、李仲生等人的影響下，展開了新的藝術運動。1957年「東方」、「五月」二個畫會先後成立，對臺灣現代美術的發展影響很大。從此臺灣美術的發展趨勢與大陸的完全不同，與日據時代的50年間一樣有她獨自的美術世界。

在此潮流中，版畫也同樣地由諷刺時代的社會性濃厚的作品轉向追求個人內在性發，由具象轉化成抽象，這是當然的歸結。1958年十位美國版畫家與臺灣的秦松、江漢東等人共同舉辦了「中美現代版畫展」，年底秦松、江漢東、楊英風、陳庭詩、李錫奇、吳昊等人共同創辦「中國現代版畫會」（會長：秦松）。59年10月舉辦第一屆版畫展，作品表現脫離寫實，造型技法上做了極大膽自由的嘗試。年底的第五屆巴西聖保羅雙年展，秦松及江漢東、陳庭詩、李錫奇、吳昊等人均得獎入選。臺灣版畫在國際藝壇上開始受到重視。

60年代的臺灣版畫在這中國現代版畫會的主導下發展起來，版畫藝術被認為是現代美術的表現形式之一。在第6屆聖保羅雙年展江漢東、陳庭詩、李錫奇、吳昊等人又得獎入選，在國際藝壇上確立了臺灣版畫之地位。

廖修平1959年師範大學畢業，旋即從事教師工作，同年榮獲第十四屆全省美展西畫類組第一名。1961年起服兵役，他在這期間也不曾中斷創作，且在1959年成立的李石樵門生為主的今日畫會上不斷發表油畫作品。1962年退役後，負笈東瀛，進入日本國立東京教育大學深造進修（第二年王秀雄也到東京教育大學留學）。在東京教育大學期間，向松本重雄學習油畫，秋天參加日展榮獲入選。他是戰後第一位入選日展的臺灣人。同時，由於廖修平的父親廖欽福先生從事建築業，因此他也去東京教育大學高橋正人教授



1968_ 鏡之門 (高美館)
鏡之門 (高美館)



1976_ 靜物
靜物



1982_ 歲暮憶往
歲暮憶往

はこれ以後の台湾版画界の中核となり、廖とともに台湾版画を隆盛に導いていく存在となった。

1977年、廖修平は筑波大学に招かれ版画研究室の創設に尽力、1979年には米国のシートン大学に招かれて1992年まで米国で教育に従事するが、この間もしばしば台湾に戻り、版画の普及に努めている。

1980年代—台湾版画的国际化

70年代の台湾は、国内政治的には美麗島事件（1979年）に代表される弾圧もあったが、全体的には安定しており、経済的にも繁栄をつづけていた。美術の面では美術館や画廊が相次いで開かれるなどし、台湾の版画は多様化の道を着実に歩んでいた。しかし、国際政治的には台湾は逆境に追い込まれていた。1971年に国連が共産中国の加入を認めたことから台湾は国連を退出、翌

年には日本と断交、78年には米国と断交するに至る。この影響で、これまで多方面で継続していた美術家の国際的な活動も大きな制約を受ける事態となった。台湾の版画家達はサンパウロ、東京或いはフランスやイタリア、英国などで開催される版画展への出品が困難となり、国際交流の道が閉ざされていった。

こうした背景の下、1982年廖修平は台湾に戻り国家文化建設会議に参加する。そして、文化建設委員会（文建会）主任陳奇祿とともに開催したのが中華民国国際版画展であった。この展覧会はその後、ビエンナーレとして改組され、各国から審査員を集め、国際的基準により作品を評価することで、台湾の版画芸術に常に新たな刺激を与え続け、その国際化を促進し、今日の台湾版画の隆盛の礎となった。

台湾版画的今日の隆盛を築いたもう一つ

主宰の研究所学習設計と構成原理。這對他日後的版畫影響很大。

當時的東京，有很多機會欣賞到畢加索、夏卡爾、達利等人的版畫作品，同時日本版畫的多樣的表現技法讓只知臺灣木刻版畫的他大開眼界。但是當時的東京教育大學並沒有版畫課程，廖修平只好私下到北岡文雄、星襄一等老師處接受指導。1963年參加日本版畫協會展，同一年裡又以《墨象連作A》參加聖保羅雙年展。版畫家廖修平的第一步就是在東京這樣開始起步的。

1964年冬天，廖修平從日本遠赴巴黎，比廖修平先到的有陳錦芳和謝里法，他們三個人每天一起去遊畫廊、坐咖啡廳，自稱為“三劍客”。後來他們一起設立巴黎文教基金會，頒發獎學金提攜後輩留學巴黎。第二年，廖修平進入國立巴黎藝術學院深造，在夏士德教授門下學習油畫。秋季參加沙龍展，以油畫《巴黎舊牆》榮獲銀牌獎。夏士

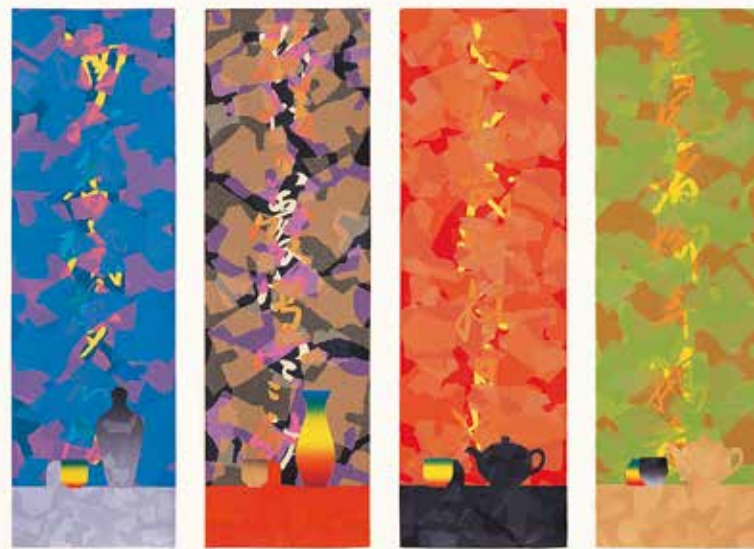
德提醒他：「將自己東方傳統文化中的特色描畫出來」，這決定了他的作畫方向。從秋天開始他便到海特教授主宰的版畫17工作室正式學習版畫的各種技法。海特的工作室裡有很多歐美的經紀人來訪，他們讚賞廖修平的東方題材的獨特風格。他的作品參加瑞士葛蘭香國際彩色版畫三年展，且在法國、奧國、比利時等國舉辦個展，作品被購藏大英博物館、巴黎國立圖書館，他的版畫作品在國際藝壇上受到很高的評價。但是1968年巴黎爆發了歷史上著名的政爭學潮，隨之在學習上和創作上有種種障礙，因此廖修平便遷移到世界美術潮流的中心紐約，在普拉特版畫中心繼續深造。

1970年代—臺灣版畫的多元化

1966年，臺灣省立博物館舉辦了廖修平的版畫個展。《七爺八爺》、《雙喜》、《廟內》這三件作品以臺灣寺廟為主題，帶



1992_園中雅聚 #9
園中雅聚 #9



1997_四季一二三四
四季一二三四



1999_結(六)
結(六)



有濃厚的臺灣本土色彩的一版多色銅版畫作讓只知道單色木刻版畫的臺灣人驚艷。1971年在普拉特版畫中心學畫的謝里法也發表了以絹印和照相併用的作品，同一年許漢超從夏威夷回臺灣，任臺灣師範大學客座教授，指導絹印版畫的制作。1970年，方向、陳其茂、李錫奇、韓明哲等不同年齡層的版畫家們共同成立「中華民國版畫學會」，70年代是臺灣版畫進入多元化的時代。

1973年，廖修平應聘在國立臺灣師範大學當客座教授，教授版畫的各種技法，也在國立藝專、文化大學等院校指導學生，同時到臺灣全省的中小學校做巡迴演講指導教師、畫家們說明版畫的多樣性，並且使用幻燈片介紹世界上的各種版畫，為推廣版畫的多樣性不遺餘力。1974年，當選十大傑出青年，他的學生鍾有輝、林雪卿、董振平、林昌德、黃國全、謝宏達、樂亦萍、曾曬淑、崔玉良、何麗容等人因而成立十青版畫會。他們是臺灣版畫界的核心人物，與廖修平一樣地在臺灣版畫界佔著舉足輕重的地位。

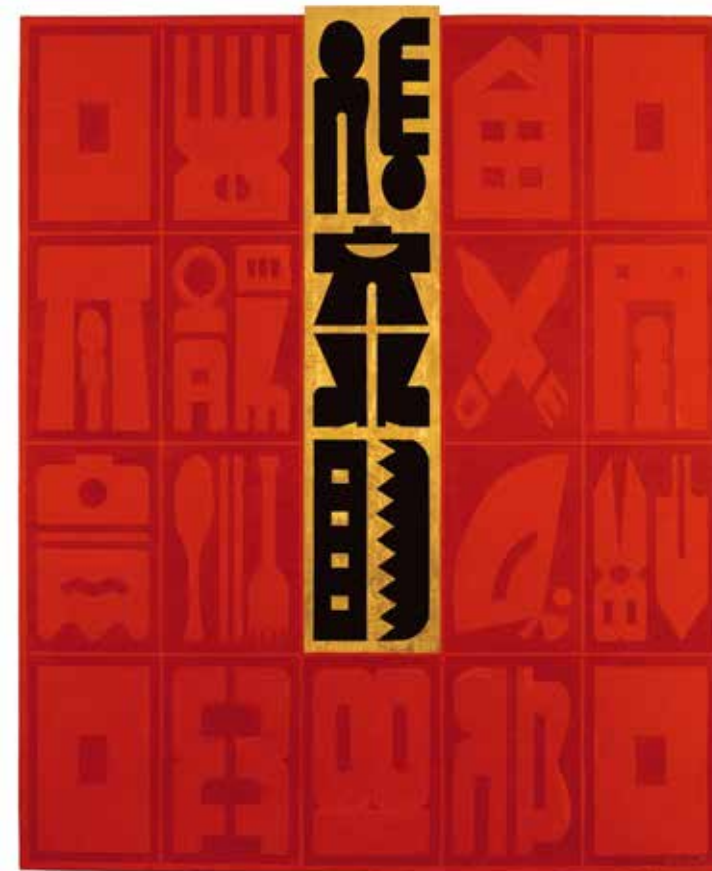
1977年，廖修平應日本國立筑波大學(東京教育大學為其前身)之邀請創設版畫研究室，1979年應美國西東大學之邀請在教職直至1992年為止。但此期間他也時常回臺灣為版畫的普及不斷地繼續努力。

1980年代－臺灣版畫的國際化

70年代的臺灣，國內政治上雖有例如美麗島事件(1979年)的政治彈壓，但整個社會還是很安定，經濟上也很繁榮。在藝術方面，美術館、畫廊相繼創設，促成了臺灣版畫的多元化。但是，國際政治上的臺灣困境重重，1971年聯合國承認共產中國的入會，臺灣退出聯合國，第二年與日本斷絕邦交。藝術家的國際活動也因此受到很大的制約。



日本の銀座の Galerie Vivant
日本銀座薇苑畫廊



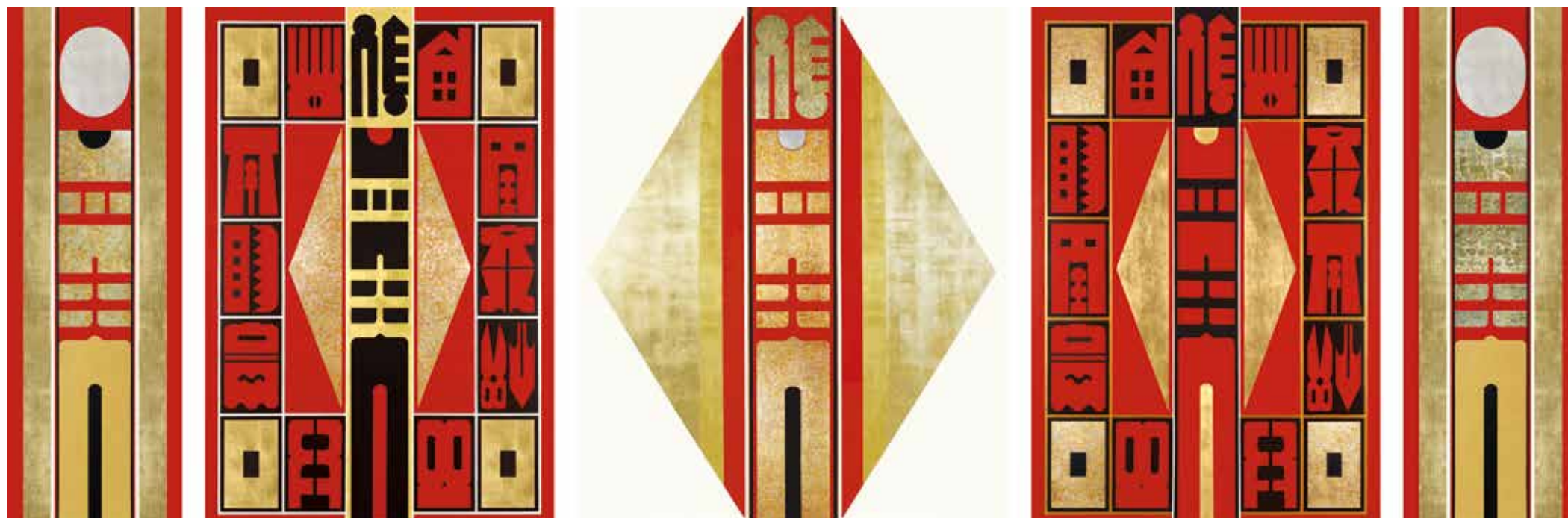
2002_生活 #2002
生活 #2002

の要因に版画工作室の創設がある。1983年、文建会の指導により設けられた版画工作室では、廖修平は勿論のこと、鍾有輝、董振平など彼に学んだ版画家たち、更に日本の吹田文明、矢柳剛などといった版画家を招くなどして各種版画技法の普及にあたった。

そして、80年代、廖修平は、台湾、米国、日本、ドイツ、韓国などで個展を開催、各種のグループ展などの出品を重ね、ノルウェイ国際版画ビエンナーレ銀賞を受賞するなど名実ともに台湾を代表する版画家として、国際的な地位を確固たるものとした。

1990年代から

1992年、体調の不良から廖修平は長年



2008_希望之門五聯屏
希望之門五聯屏

勤めたシートン大学教授の職を辞し、制作に専念、また、油彩の制作を再度開始する。1993年には、かつてのパリでの留学仲間である謝里法、陳錦芳との三人で巴黎文教基金会を設立し、あわせて巴黎獎を設けて青年芸術家のパリ留学を援助することとした。そして、1994年、台湾に戻り、台北国立芸術学院などで教育に従事する。また、廖は中華民国国際版画ビエンナーレでは審査員を務め続け（3回・6回・10回を除く）、また、台湾版画学会の会長を務めるなど国際交流の拡大、台湾版画の発展に変わる事の無い努力を重ねていった。1996年には李仲生現代絵画文教基金会の現代絵画成就獎、1998年には国家文化藝術基金会から第2回国家文芸獎がこれまでの

業績に対して贈られている。

不幸なことに、2002年、その画業を支えてきた愛妻吳淑真が急逝。廖はこのために長く制作の根拠地としてきたニュージャージーのアトリエを閉じ、台湾に戻ってきた。そして、また、この悲しみは彼の新たな作品群「無語問天」系列を生み出すことにもなった。

台湾に戻ってからの廖は、これまで同様に制作と台湾版画の発展に尽力、2006年の第5回エジプト国際版画とトリエンナーレでは優選獎を受賞している。

日本との関係についていえば、1990年に東京のストライプハウス美術館で大規模な個展を開催している。廖が創設した中華民国国際版画ビエンナーレでは、中林忠良が

聖保羅、東京、法國、義大利、英國等地舉辦的國際版畫展臺灣版畫家們的參展發生困難，阻撓了他們的國際交流。

在此情勢下的1982年，廖修平回臺灣參加國家文化建設會議，與文化建設委員會(文建會)主任陳奇祿共同舉辦了中華民國國際版畫展，這個展覽會日後改組稱為雙年展。從各國請來評審委員以符合國際標準的審查，讓臺灣版畫藝術時常保持新的刺激，促進國際化，奠定了今日的臺灣版畫的蓬勃氣象。

臺灣版畫界能有今日的發展的另一重要原因是版畫工作室的創設。1983年，在文建會指導下成立的版畫工作室，除聘廖修平之外，還邀請了鍾有輝、董振平等他的門生以及日本吹田文明、矢柳剛等日本著名的版畫家，共同普及各種版畫技法。

80年代，廖修平在臺灣、美國、日本、德國、韓國等地舉辦個展，且參加各種聯展，同時榮獲挪威國際版畫雙年展銀牌賞，他在國際藝壇上被認為是名符其實的代表臺灣的版畫家。

1990年代以後

1992年，廖修平由於身體的不適，辭去多年來服務的西東大學教授之職，專注於創作，而且再度開始油畫的創作。1994年，回臺灣，在臺北國立藝術學院等院校任教。廖修平一直都是中華民國國際版畫雙年展的評審委員(第三屆、六屆、十屆除外)，並任臺灣版畫學會會長，努力擴大國際交流，發展臺灣版畫。1996年榮獲李仲生現代繪畫成就獎，1998年榮獲國家藝術文教基金會的第二



2014_富臨門
富臨門

大賞（第1回）に輝いたのをはじめとして、多くの日本人版画家が様々な賞を受賞し、その後のそれぞれの展開の契機となっている。また、日本の版画家の台湾における個展の開催を積極的に推進したほか、中林忠良や園山晴巳などを招いて指導に当たってもらなど日台版画交流を積極的に推進している。

廖修平について、プラット版画センター

教授のフリッツ・アイツェンバーグは「完璧な人格、文雅であって剛強」と称している。（廖修平—廖修平的風采・嶺南美術出版/1998）その性格を反映した彼の洗練され、調和のとれた作品が人を魅了することは勿論として、その優れた人格が多くの世界の版画家達、後進の尊崇をあつめてやまない。

（あじおか よしんど：渋谷区立松濤美術館学藝係長）

出典：『台湾の心・台湾の情—廖修平・江明賢二人展』 p.21-29（2009年4月6日発行）
渋谷区立松濤美術館・美術館連絡協議会

廖先生をお訪ねして

文・林佳瑤（筑波大学台湾オフィス）

2019年12月のとある雨の日、台湾校友会会報記事の取材で、台北市仁愛路にある廖修平先生のアトリエにお邪魔する機会に恵まれました。広々としたアトリエで廖先生の数々の大型作品を間近で鑑賞させていただき、そして廖先生の澀刺としたお姿と興味を引き付けられるお話を伺うと、まるで春風に吹かれたようになり、アトリエを出た時には外のジメジメした空気も全く気になりませんでした。

東京教育大学在学中の思い出、筑波大学で教鞭を執られた時の出来事、人生における悟り等々の先生のお話には芸術への強い意志とこだわりが溢れていて、芸術への飽くなき探究心の所以が感じられました。

最後に、筑波大学校友の皆さんへのメッセージをいただきました。

「皆さんも是非台湾の外に出て、広い世界を体験してください。台湾という居心地

の良い場を離れて国外に行ってみて、例えばパリやニューヨークのような芸術の都を訪れたり、世界各国の芸術家に触れてみることで、はじめて真の刺激や認識を得ることができるのです。」

廖先生は福修文化芸術基金を設立し、学生たちの経済面での支援に加え、芸術界での教師と学生の橋渡し等、芸術の継承と無数の学生たちの留学の夢の実現に大きく貢献しています。

廖先生のような素晴らしい校友の存在を大変誇りに思います。そしてこのたび筑波大学校友会会報上で廖先生の作品の数々をご紹介しますいただけるのは大変光栄です。改めて、廖先生とアトリエ関係者の皆様に御礼申し上げます。（訳：服部美貴 日本語・日本文化学類／地域研究研究科 台湾大学日本語文学系講師）



届国家文藝獎。

不幸的是2002年一直支持他畫業的愛妻吳淑真女士過世，廖修平因此關閉了多年來創作根據地新澤西工作室回臺灣。這個悲痛使他創造出新作品《無語問天》這一系列。回臺灣之後的廖修平一如往昔地創作和為臺灣版畫的發展努力。2006年第五屆埃及國際版畫三年展中榮獲優選獎。

他和日本的關係則是1990年在東京線條屋美術館舉辦大規模的個展開始。廖修平創設的中華民國國際版畫雙年展，中林忠良榮獲第一屆大獎之後，很多日本版畫家

也先後得獎，並且成為日後發展的契機。廖修平積極地鼓勵日本版畫家在臺灣舉辦個展，聘請中林忠良、園山晴巳等人指導臺灣版畫，積極地促進臺日版畫之交流。

布拉特版畫中心的艾慶堡應教授讚評廖修平有完整的人格，文雅卻剛強(廖修平—廖修平的風采・嶺南美術出版社/1988)。一如他的個性，他的作品洗練均衡讓人喜愛，他崇高的人格使世界版畫家們及後學者對他尊敬不已。

（澀谷區立松濤美術館學藝係長）

（譯：蔡美玲）

採訪後記

文・林佳瑤（筑波大學台灣辦事處）

2019年12月的一個陰雨天，拜台灣校友會的會刊之編輯工作之賜，我有幸來到廖修平老師位於仁愛路上的工作室，寬敞的工作室，掛著大幅的廖老師的畫作，我得以最近距離欣賞廖老師的作品，廖老師英姿挺拔，談笑風生，令我如沐春風，離開工作室時，完全感受不到天氣的溼冷。

老師談到當年在東京教育大學求學時的回憶、任教筑波大學時期的點滴、對人生的感悟，在在都可以感受到廖老師在藝術這條路上的堅持，才能夠鍛鍊出對藝術不懈的毅力。最後我請廖老師對筑波大學校友們說幾句話，他說：

「奉勸各位要走出台灣，到世界探索。離開台灣這個舒服圈，到國外去看看，親身



廖先生と台湾オフィスの林秘書
廖老師與台灣辦事處的林秘書

到巴黎、紐約等藝術之都，去接觸世界各國的藝術家，才能得到各種真實的刺激與反思。」

所以，廖老師創辦了福修文化藝術基金會，協助許多學生經濟上的援助，並且熱忱協助引薦藝術界的師生互相認識，在藝術傳承上，幫助了無數的學生完成了留學的梦想。

筑波大學台灣校友會以擁有廖老師這樣優秀的校友為傲，這次能在會刊上刊登廖老師的作品，編輯群深深地感而榮幸，再次感謝廖老師與工作室的熱情協助。



陸羯南と台湾日日新聞— 「司馬遼太郎からの宿題」の宿題（前編）

文●高木宏治（社会学類 筑波大学非常勤講師・陸羯南研究会）

筑波大学時代の恩師・青木彰教授は、生前よく「司馬さんから宿題をもらっている」と話していた。

その宿題とは、司馬さん、作家の司馬遼太郎氏ですが筆者も一愛読者として尊敬と親近の情を込めてこのように呼ばさせて頂きます、彼の代表作「坂の上の雲」でも正岡子規を育てた人物として描いた明治期を代表する新聞人の一人・陸羯南の研究のことである。

不肖の弟子である筆者は、司馬さんが亡くなるまで、青木先生がこんなにも司馬さんと親しいとは全く知らず、いつも一読者としてその作品が新しく出るのを心待ちにしていた。

1996年2月の司馬さんの訃報に驚いてから暫くして、会社に青木先生から御電話を頂戴した。

『高木君、子規全集を探してくれないか』

金融機関に勤務している者には、少し意表をつく依頼であった。

お話をお伺いするうちに、全集を発刊した出版社には、もう品切れで在庫がないと言われた、とのこと。それにして



講演中の筆者
講演中の筆者

も、何故メディアを専門とする先生が、正岡子規なのかと思いながらも、神保町、本郷、早稻田と古書肆をまわって状態の良い全集を見つけて、先生のもとにお持ちした。

どうして、突然、正岡子規なのか、いぶかる筆者に、実は作家の司馬さんとは長い付き合いで、と始まった。

司馬さんも産経新聞の記者出身、そして青木先生も産経新聞から大学にいらしたということは知っていたので、少しはお付き合いがあったのかな、とは思っていたが、そもそも「竜馬がゆく」を連載する時の担当の部長だったのが馴れ初めで、と青木先生。

陸羯南與台灣日日新聞— 「來自司馬遼太郎課題」的大課題(前篇)

文●高木宏治（社會學類 筑波大學非常勤講師・陸羯南研究會）

筑波大學在學期間我的恩師-青木彰教授在世時經常掛在嘴邊的一句話[司馬遼太郎先生給了我一個大課題]。

青木恩師所言的大課題，就是我衷心尊敬滿懷親炙之情的作家司馬遼太郎先生，我是他的粉絲，稱他為司馬先生，在他代表作[坂上之雲]中描述栽培正岡子規明治時期的代表性新聞人之一-陸羯南先生，要做陸羯南先生的研究。

學生不才竟然在司馬先生過世之前，渾然不知青木恩師與司馬先生如此熟稔。每每以一個司馬粉絲期待他新作品問世而已。

1996年2月驚聞司馬先生辭世，稍後在公司接到青木老師電話。

『高木，可以幫我找到子規全集嗎？』

對於服務金融界的筆者而言，稍有突兀之感。

問清楚原委，原來出版子規全集的出版社告知該書已經銷售一空。即便如此，為何專精媒體的老師，要找正岡子規作品？雖有疑問還是跑遍了神保町，本郷，早稻田舊書店，找到還算書況蠻好的全集送到老師處。

老師對滿腹狐疑的我開始敘述為何突然要收集正岡子規，其實他和司馬先生是故交。

司馬先生也是產經新聞記者出身，而青木老師是從產經新聞轉到大學任教，這些

過往我早有所聞，當時認為二人只是泛泛之交，但青木老師說，其實當時他任職部長，負責連載[龍馬來了]這部小說，二人開始相交甚篤。

在撰寫坂本龍馬為主的小說，拜訪幕末作家母澤寬，時任連載小說教養部長的青木老師也同行，這是二人最初的會面。司馬先生投注心血完成的[龍馬來了]至今仍是戰後最足以代表日本之巨著。

其後，隨著二人相交日深，眾所周知[坂上之雲][油菜花的海岸]等名作，也都是由產經新聞連載。

[『赤城』一書中描述的艦長之子(青木老師，筆者註)，持續半生不斷將實務和學問的主題置於情報訊息上，或許可說和太平洋戰爭中途島之憾不無關係吧。]

（司馬遼太郎 街道漫步 三浦半島記 朝日新聞社）

註：以上小說名參考華人百科。

1977年從產經轉至筑波大學的青木老師，在1986年末收到了來自司馬先生的信，邀他一同研究陸羯南。研究一位新聞人起源，又是司馬先生提議，老師鼓足全力做好準備，然而不巧此時生病，想要另外拜託他人，終因研究學者步調統合不易，羯南研究懸宕至今。

而司馬先生辭世，老師陷入極端後悔。

竜馬を主人公にした小説を書くにあたって、幕末小説の先輩作家である子母澤寛を訪ねた時に、連載小説担当の教養部長であった青木先生も同行したのが最初の出会いだった。司馬さんは、「竜馬がゆく」に心血を注ぎ、今もなお戦後日本を代表する小説が産まれた。

その後、お二人の交流が深まると共に、「坂の上の雲」、「菜の花の沖」という代表作も産経新聞に連載されたのは、読者諸賢がよくご存じのところと思う。司馬さんと青木先生の交友の深さは、司馬さん自身が、その著く街道をゆく 三浦半島記の中で書いている。

「『赤城』の艦長の子息（青木先生のこと、筆者注）が、半生、実務と学問の主題を情報に置きつづけてきたのも、ミッドウェーの悔恨と無縁でなかったかもしれない」

（司馬遼太郎 街道をゆく 三浦半島記 朝日新聞社）

1977年に産経から筑波大学に転じた先生あてに、1986年の暮れ、司馬さんから一緒に陸羯南の研究をしませんか、というお誘いがあった。

新聞人の源流の一人の研究を、他ならぬ司馬さんから持ちかけられて、先生も張り切って準備をされたが、あいにくその直後に病気になり、他にお願いしようとしていた研究者の方々の足並みもそろわず、羯南研究は懸案事項となっていた。

司馬さんの死に直面して、先生は深い後悔の念にかられた。改めて自分で「司馬さんからの宿題」にとりかかろうと思って、まずは関連資料の収集の中で重要な子規全集探しとなった。

他に、羯南をとりまく新聞日本の人々の資料集めもお手伝いし、筆者自身は本業の関係で上海へ転勤となり、5年ほど日本を離れた。

2003年、久しぶりに東京に戻ると、大学の後輩から先生が入院される、との連絡が入った。手術が成功し、やれやれと思っていると、先生から少し話しをしておきたい、との御連絡を頂き数名の同窓生が御自宅にお伺いした。

結局それが、遺言のようになってしまったのだが、その時に話された、先生の心残りの中のテーマの一つに、この「司

於是想要重啟[司馬先生課題]，首先相關資料蒐集中最重要的是找到子規全集。其他，尚有幫忙蒐集與羯南相關[新聞日本]的每個人資料，筆者本身因工作調至上海，離開日本5年之久。

2003年久別重回東京，大學學弟告知青木老師因病住院。正慶幸著還好手術成功，又收到老師有話要交付的訊息，和幾位同班同學去到老師府上。沒想到竟成了遺言，當時談到老師心中遺憾之一的題目就是[司馬先生提議的課題]。那年年末，病情急轉直下，老師追隨司馬先生同歸天國。

隔年，同學再聚，分贈老師紀念遺物時，[司馬先生提議的課題]這沉重的習題，說實在大家都感無力。專攻理論社會學的筆者，以及其他成員幾乎專攻都相去甚遠，就算最相近的也頂多只是[明治陸軍][北一輝]之類，可說全都是門外漢。

再加上大家都是企業界，新聞界，TV媒體人等各有自己本業，年齡30-40歲正值[工作高峰期]的一群，很難喬攏時間。最後決定各自負責部分，分頭查到的資料利用共同的部落格共享訊息。

閱讀基礎文獻，訪談羯南後代，以及[新聞日本]相關人士後代，全集總算出版，然而發現內容全以新聞人提供的資料為主，尚有許多未出爐資料。於是，重新著眼深耕基礎資料，加力整理工作。

雖然已經寫成論文發表，但其他留存後代子孫們的無數資料，情商同窗之誼筑波大學的中野目教授幫忙整理，過程中發現若干不曾問世的全新資料。同時，最近10年在筑波大學所開課程青木彰紀念講座＜新聞與媒體的現今＞中，＜司馬遼太郎對筑波大學學子的期許＞針對陸羯南生涯和現代意義，我以一介兼任講師，授課至今。



演壇の筆者
講壇上之筆者

此外，同時進行的是不遺餘力蒐集與[新聞日本]相關的資料。其後得知堪稱日本最早新聞寫真附錄誌[日本畫報]還留在富山舊宅，於是商量以出版複刻近代史資料為主的ゆまに書房(yumani書房)，複刻出版得以實現。

另外，在日俄戰爭爆發之前的數年間，被視為發揮新聞擴張銷售版圖利器的新聞附錄各縣分地圖也在骨董市場現蹤，之後陸續從古書市，網路等收集到的全縣地圖，加上非正規發行的中國，朝鮮，俄羅斯地圖，彙集成冊複刻出版。

接下來進行的是深掘羯南新聞人活動以外鮮為人知的另一面，以他個人為中心參與策畫的團體＜東邦協会＞、＜東亞同文会＞發行的機関誌、「東邦協会報告」、「東亞時論」、「東亞同文会報告」等一併收錄，合併長期躺在全國大學，圖書館，資料館的資料終於完成了出版。這些寶貴資料中，深藏了得以一窺羯南政治活動家的一面。

我們致力支援宣揚羯南的團體，以及協助舉辦子規博物館各項演講，展覽等活動。

*後篇將於下期刊載
(譯・孫寅華 地域研究研究科 淡江大學日本語文學系副教授)



陸羯南の生地・弘前での講演の聴衆の皆さん
於陸羯南の出生地 - 弘前演講時蒞臨聆聽者

馬さんからの宿題」があった。その年の暮れ、容態が急変し、先生は、司馬さんのもとへ旅立ってしまった。

翌年、先生の形見わけをしながら、同窓生が集まると、この「司馬さんからの宿題」という重たいテーマに、正直皆途方に暮れた。

理論社会学が専攻だった筆者をはじめ他のメンバーも、かなりかけ離れた専門の者が多く、若干近い専攻の者はいえ「明治陸軍」、「北一輝」位で、本当に素人の集まりであった。

しかも、皆、企業人、新聞人、TVマン等々の本業を持っており、年齢も30代から40代の所謂「働き盛り」にあたったことから、メンバーが集まるのも中々足並みが揃えられなかった。

結果、各人の担当テーマを決め、それぞれに自分のペースで調べてゆき、情報交換と共有の場としてのブログを開設した。

基礎文献を読みながら、羯南の御子孫、新聞日本関係者の御子孫のお話を聞いていくうちに、全集は出版されているものの、それは新聞人としての資料を中心としたものでありまだまだ埋もれている資料も多いことがわかってきた。そこで、まずは基礎資料の発掘に主眼をおき、その整理に注力した。

既に論文となって発表されているが、御子孫の皆様のところに残されていた数々の資料は、同窓のよしみで、筑波大学の中野目教授にお願いして整理をして頂き、その過程の中でこれまで知られていなかった新たな資料がいくつか発見された。併せて、筑波大学で開講されている、

青木彰記念講座＜ジャーナリズムとメディアの現在＞の中で、ここ10年ほど、＜司馬遼太郎が筑波大生に伝えたかったこと＞として、陸羯南の生涯と現代的意義について、非常勤講師として、講義してきた。また同時並行的に、新聞日本関係の資料の収集も精力的に行った。日本で最初の新聞の写真附録誌ともいえるべき「日本画報」は富山の旧家に残されていることがわかり、近代史の資料復刻を主に出版事業を行っている、ゆまに書房さんと相談の上、復刻出版が実現できた。

また日露戦争直前の数年にわたって、新聞の販売拡張のツールの役割も果たしていたと思われる新聞附録の各県別地図を骨董市で見出し、以降、古書肆、ネット等での資料収集などを継続して日本全県の地図を収集し、番外として発行されていた中国、朝鮮、露西亞の地図と併せて一冊にまとめて、これも復刻出版を実現した。

また、羯南の新聞人としての活動の側面とは別の部分を掘り下げるために、彼が中心的な立場で参画していた団体、＜東邦協会＞、＜東亜同文会＞の機関誌、「東邦協会報告」、「東亜時論」、「東亜同文会報告」も収集し、全国の大学、図書館、資料館などに眠っていた資料と併せて、復刻、出版にこぎつけた。これらには、羯南の政治活動家としての側面をのぞかせる資料が眠っていた。

羯南を顕彰する団体、また子規などの博物館等での講演、展示の協力なども、協力、後援開催を行わせて頂いた。

（＊次号に続く）



台湾「競技かるた」、 世界大会への道

—「百人一首競技かるたワークショップ」と
「第1回台湾かるた大会」の開催—

文●内田康（比較文化類／文芸・言語研究科 淡江大学日本語文学系副教授）

・「競技かるた」とは

皆様は、「競技かるた」というものをご存じでしょうか。「かるた」と言えば、日本では正月などに行われる家庭内の遊戯の一つとして現在に至るまで親しまれてきていますが、その中でも、鎌倉時代初期に藤原定家（1162-1241）が日本の伝統的詩歌である和歌を、一人の作者につき一首ずつ百首選んだものとされる『百人一首』（『小倉百人一首』と

も）の「かるた」は、遊びながら古典文学の勉強にもなるということで、学校教育の場でもしばしば取り上げられる機会があります。基本的に五・七・五・七・七の合計三十一文字から成る和歌の後半（下の句）七・七の部分に記された札を並べ、一人の読手が前半（上の句）から読み上げる詩句を聞いて、それに対応する札を他の人よりも早く取るという遊びですが、この遊びが明治時代にルールの



中筋規江元準クイーン（左）とイーブン美奈子四段によるデモンストレーション
中筋規江前準歌牌女王（左）和 Yeeboon 美奈子四段示範表演賽

台灣「競技歌牌」，前進世界大賽

— 舉辦「百人一首競技歌牌工作坊」以及
「第一屆台灣歌牌大賽」—

文●内田康（比較文學類／文藝・言語研究科 淡江大學日本語文學系副教授）

・何謂〔競技歌牌〕？

各位朋友，您知道甚麼是〔競技歌牌〕嗎？說到〔歌牌〕，日本新年期間家庭內常玩的遊戯之一，時至今日都受到大家喜愛。其中尤以鎌倉時代初期藤原定家（1162-1241）將日本傳統詩歌和歌，每一作者選出一首共一百首編成的『百人一首』（也稱作『小倉百人一首』）歌牌，玩牌之餘還能學習古典文學，所以常被學校利用做為學習教材。基本上五・七・

五・七・七合計三十一文字而成的和歌，後半（下句）七・七的部分出現在紙牌上，這些紙牌排列在每人面前，由一人吟唱前句（上句），當聽到上句要眼明手快取得對應的紙牌，這就是歌牌遊戯。此遊戯在明治時期，制定規則，成為一項運動，謂之〔競技歌牌〕。因為使用了古文詩歌，一般人感覺它似乎很難。然而進入2010年代，以〔競技歌牌〕為題材的漫畫，動漫（特別是末次由紀『花牌情



ワシントン DC いにしへ会・ストーン睦美会長（左）と奥村準子 A 級公認読手（中）
華盛頓 DC Inishie 歌牌會・Stone 睦美會長（左）與奧村準子正式認證 A 級吟唱手（中）

整備を施され、一種のスポーツとなったのが「競技かるた」です。もともと日本語の古文で書かれた詩歌を用いていますから、難しそうだと思われるかもしれませんが、ところが特に2010年代に入り、この「競技かるた」を題材にした漫画やアニメ（中でも末次由紀『ちはやふる』の他、『劇場版名探偵コナン から紅の恋歌（ラブレター）』）の人気の高まりもあって、日本国内のみならず海外でも、「競技かるた」を楽しむ人たちが急増しており、それはここ台湾の場合も例外ではないのです。

・台湾「競技かるた」事始め

実は私は、高校時代に部活動を通して「競技かるた」を始め、筑波大学に入学後も学内の「歌留多(かるた)部」に参加していたのですが、その後、仕事で日本を離れて以降、「競技かるた」から

も遠ざかっていました。それが今から6年程前、「競技かるた」に興味を持った学生たちの要望で勤務校の淡江大学に「歌牌社（かるた部）」を立ち上げ、現在に至っています。当初は、学内で「競技かるた」を取ったり、台湾の人々に向けて「競技かるた」の紹介を行ったりするのを主な活動にしていたのですが、一昨年頃から状況が大きく変わってきました。一つは、日本に留学して「競技かるた」を覚え、帰国後もそれを続けたいと考える、銘伝大学や東呉大学など他大学の学生が練習に参加し始めたことで、銘伝大学はその後、学内に「競技歌牌同好會」を設立するまでになりました。もう一つは、2018年11月3日に滋賀県大津市の近江神宮で「第1回おおつ光ルくん杯競技かるた世界大会」が開かれたことで、これはブラジル、中国、フランス、ハンガリー、イタリア、タイ、アメリカ

縁』，『劇場版名偵探柯南：唐紅的戀歌』）最為人津津樂道。不僅日本國內，國外以〔競技歌牌〕為樂的人數遽增。台灣也不例外。

・台灣〔競技歌牌〕發端

我從高中時代參加社團開始玩〔競技歌牌〕，進筑波大學後繼續加入「歌留多部（歌牌社）」。畢業後因工作離開日本，也就與歌牌漸行漸遠。大約6年多前，我服務的淡江大學，學生對〔競技歌牌〕有興趣，應學生所需成立了「歌牌社」持續至今。起初只是在校園內做〔競技歌牌〕活動，對台灣人介紹歌牌等等，前年開始有很大改變。其一，留學日本學到了〔競技歌牌〕回國後想繼續精進的銘傳，東吳等其他大學的同學紛紛加入淡江練習。銘傳大學甚至在校內成立「競技歌牌同好會」。其二，2018年11月3日滋賀縣大津市近江神宮內舉辦「第1屆大津光君杯競技歌牌世界大賽」，參賽國包括巴西，中國大陸，法國，匈牙利，義大利，泰國，美國等7國選手團隊首度對抗賽，受到高度關注。可惜台灣沒有派選手隊參加此次大賽。我個人想親眼目睹這些來自世界各地選手齊聚一堂歌牌競技的風采，大會當天也來到會場。十分有緣能在會場見到長期以來致力〔世界大會〕營運的華盛頓DC Inishie歌牌會會長-Stone睦美六段，因此機緣促使台灣〔競技歌牌〕展開全新局面。

・前進舉辦〔百人一首競技歌牌工作坊暨公開競技賽〕

Stone會長當年開始〔競技歌牌〕不久就晉級最高A級選手，不僅如此，在離開日本後陸續於曼谷，北京，華盛頓DC以及世界各地成立歌牌會，堪稱普及〔競技歌牌〕於世界



「競技かるた」経験者による公開競技会
〔競技歌牌〕有經驗者公開競技賽

的第一人，更巧的是她也是筑波人（生物學類畢業）。當她得知台灣〔競技歌牌〕普及狀況後當下就建議何不在台灣舉辦〔競技歌牌〕？聽她如此建議，說實在我當時並不認為可以實現。後來不斷受到Stone會長慫恿，計畫一點一點開始具體化。將競技比賽狀況公開，進一步更舉辦專對一般人設計的〔百人一首競技歌牌工作坊〕，我把此活動定位為向台灣社會推廣〔競技歌牌〕，整個活動過程也受到來自公益財團法人日本台灣交流協會，一般社團法人全日本歌牌協會的支援。活動營運，由淡江大學和銘傳大學〔競技歌牌〕社團擔任，決定於2019年8月2日舉辦比賽。至於會場，很幸運的借到了日據時代日式料亭如今已明定為古蹟的建築，在台北市內的〔紀州庵〕將近五十疊塌塌米的大宴會廳。這是一場最能反映和日本歷史關係的台灣獨特的歌牌大賽。

・活動當天

當天上午由Stone會長講解〔競技歌牌〕，和一般參加者體驗迷你〔競技歌牌〕揭開序幕。講解中實際表演的是和



一般參加者によるミニ「競技かるた」体験
一般參加者の迷你〔競技歌牌〕體驗

の海外7か国から選手が参加した国別対抗による初の団体戦として注目を集めました。残念ながら、この時には台湾からの選手の派遣は見送ることになりましたが、私は、海外の選手たちが一堂に会して「競技かるた」を取る姿を自分の目で見ようと、大会当日会場へ足を運びました。そしてそこで、「世界大会」の運営にずっと携わって来られたワシントンDCいにしへ会会長・ストーン睦美六段にお目にかかったのが機縁となり、台湾の「競技かるた」は新たな局面を迎えるに至ったのでした。

・「百人一首競技かるたワークショップ および公開競技会」開催に向けて

ストーン氏は、「競技かるた」を始められて程なくA級選手に上り詰めたばかりか、日本を離れた後もバンコク、北京、ワシントンDCと世界各地でかるた会を設立して来られた、「競技かるた」世界普及の第一人者ですが、実は偶然にも筑波大学（生物学類）の卒業生でした。そして、台湾での「競技かるた」の普及状況を耳にされると、当地で「競技かるた」の大会を開催してはどうか、と勧めてくださったのです。その話を伺った当初、私は到底実現できるとは思えませんでした。しかし、その後のストーン氏の慫慂を受け、計画は徐々に具体化していきました。競技会の様子を公開し、さらに一般人向けの「百人一首競技かるたワークショップ」と併せて行うことで、台湾社会に「競技かるた」の存在を広くアピールするためのイベントとして位置づけ、その過程で

公益財団法人日本台湾交流協会や一般社団法人全日本かるた協会からの援助も受けられることが決まりました。運営は、淡江大学と銘伝大学の両「競技かるた」団体が担当し、2019年8月2日の開催を決定。会場には、日本時代の料亭の建物が古跡となっている、台北市内の「紀州庵」の五十畳近い畳敷きの大広間が運よく借りられ、日本との歴史的関係を反映した台湾ならではの大会にできたと思います。

・イベント当日

当日は、午前中のストーン氏による「競技かるた」のレクチャーと、一般参加者を対象としたミニ「競技かるた」体験で幕を開けました。レクチャーの際のデモンストレーションには、和歌山県かるた協会会長で競技かるた元準クイーン中筋規江七段と、タイのクルンテープかるた会副会長（当時）イーブン美奈子四段が御来台、本番さながらの模範演技を御披露いただきました。またミニ「競技かるた」体験と、それに続く午後の公開競技会では、筑波大学附属高校教諭でA級公認読手、且つ、やはり筑波大学（日本語・日本文化学類／教育研究科）の卒業生でもある奥村準子六段が、早朝の飛行機で東京から駆けつけ、本場の詠唱を会場に響かせてくださいました。50名を超える参加者のうち、ミニ「競技かるた」体験には20名余り、また公開競技会には15名近くがエントリーし、イベントは最後まで静かな熱気に包まれたまま、全ての日程を無事に終了することができました。



左〈チャイニーズタイペイ〉チーム VS 右〈中国〉チーム
左〈中華台北〉隊 VS 右〈中國〉隊

歌山縣歌牌協會會長前準歌牌女王中筋規江七段和泰國曼谷歌牌會副會長（當時）Yeeboon美奈子四段專程來台比擬正式比賽為大家示範演技。迷你〔競技歌牌〕體驗，和接下來下午的公開競技賽，擔任吟唱手的是筑波大學附屬高中教師正式認證A級，過去也是筑波大學（日本語・日本文化 類／教育研究科）畢業的奧村準子六段，她一大早從東京搭早班機飛到台灣，正式比賽中她的吟唱響徹會場。超過50名參加者，其中有20幾人體驗了迷你〔競技歌牌〕，而在公開競技賽中有近15名報名。活動自始至終都環繞著寧靜興奮的氛圍。

・參加〔競技歌牌世界大賽〕以及設立〔台灣歌牌會〕

話說，名為〔第1屆台灣歌牌大賽〕的公開競技賽，兼有選拔同年11月10日在日本

舉行的〔第2屆大津光君杯競技歌牌世界大賽〕參賽選手，第1名到第5名（銘傳大學，東吳大學，淡江大學，國立台灣體育運動大學的畢業生和在校生）等於拿到了近江神宮的入場券。〔世界大賽〕當天，台灣選手們的表現耀眼，10隊參賽者得到第5名好成績，第1和第3由日本小中學生隊抱走，海外參賽強隊法國第2名泰國第4名，台灣隊僅次這2隊，以第1次參賽來看，真是勇敢奮戰。今年2020東京奧運之年，5月確定舉行〔第3屆大津光君杯競技歌牌世界大賽〕。重新啟動〔台灣歌牌會〕的我們，面對此一大目標，持續不斷的全力衝刺。走到今日這一步，絕非平坦康莊大道。藉此篇幅，我們要深深感謝一路大力給予支援的諸位，同時這也是向世界發聲台灣存在的一大機會，企盼今後能得到更多的理解與協助。

（譯・孫寅華 地域研究研究科 淡江大學日本語文學系副教授）





〈チェーンズタイペイ〉チーム「かる台湾」のメンバー
中華台北隊 [KARUTAIWAN] 隊員

・「競技かるた世界大会」への参加と 「台湾かるた会」の設立

さて、「第1回小倉百人一首台湾かるた大会」と銘打って行なった公開競技会は、同年11月10日開催「第2回おおつ光ルくん杯競技かるた世界大会」への参加選手の銓衡も兼ねており、1位から5位までの入賞者（銘伝大学、東呉大学、淡江大学、国立台湾体育運動大学の卒業生および在校生）が、近江神宮への切符を手に入れました。「世界大会」当日、台湾選手たちの活躍は目覚ましく、10チーム中第5位という成績は、1位と3位を日本の小中学生チームが占め、海外からの参加チームの中では強豪のフランス（2位）とタイ（4位）に次ぐもの

で、初出場としては大健闘だったと思います。そして東京オリンピックが開かれる本2020年、5月に「第3回おおつ光ルくん杯競技かるた世界大会」が催されることとなり、「台湾かるた会」を新たに立ち上げた私たちは、目の前のこの大きな目標に向けた準備を続けているところです。ここに至る道は、決して平坦ではありませんでした。私たちはこの場をお借りして、これまで御支援くださった全ての方々に対して深く感謝いたしますとともに、世界に台湾の存在を広く訴えかける機会の一つとして、今後ますますの御理解ならびに御助力を、皆様方をお願い申し上げる次第です。



Bachelor of Engineering
Bachelor's Program in

Interdisciplinary Engineering University of Tsukuba



筑波大学
University of Tsukuba

www.global.tsukuba.ac.jp/IDEngineering



台南レポート—鹿角枝

文 ● 服部美貴（日本語・日本文化学類／地域研究研究科 台湾大学日本語文学系講師）

「鹿角枝」は台南大学と台南女中に程近い落ち着いたエリアにあり、平日の朝から談笑する大人たちで賑わっていました。

ここは、2018年発行の第3号でもご紹介した筑波大学校友で現在可成教育基金会CEOを務める林珍玖さんがオーナーの、お洒落なカフェです。お忙しい中、林さんにランチをいただきながらこのカフェについてのお話を伺いました。

築約80年というこの建物は、以前は地元の人に親しまれる個人病院でした。そう聴くと、中の所々にその名残が見えます。お医者さん家族の住居となっていた2階は壁を取り払って広々とした空間になっています。店内には店長の李さんが台湾や日本等で集めた古い家具や骨董品が配置され、また不定期で音楽会等のイベントも開催され、懐かしさと新しさを備えた居心地のいいカフェに生まれ変わっています。

「鹿角枝」というのは國畫の技法のひとつで、國畫の教師でもある李店長の名づけだそうです。その形にはここからいろんな方向に発展するという意味合いも含まれているとか。

野菜がふんだんに使われたランチ（ドリンク付）はボリューム満点！孔子廟エリアも徒歩圏内にあるこのカフェで朝の栄養補給をして、台南観光を楽しむというのはいかがでしょうか。



台南專題報導—鹿角枝

文 ● 服部美貴（日本語・日本文化学類／地域研究研究科 臺灣大學日本語文學系講師）

「鹿角枝」位於接近台南大學與台南女中一處靜謐的區域，每日一大清早就洋溢著人們的談笑聲。

「鹿角枝」，在2018年第3號筑波校刊曾專訪過她的主人，目前擔任可成教育基金會CEO的林珍玖校友。此處是一個非常有品味的美麗咖啡館。筆者一面享用早午餐同時傾聽珍玖校友百忙中接受訪問娓娓道來「鹿角枝」的故事。

這棟屋齡將近80年建築，曾是當地居民所熟知的私人醫院。聽到此，能感受到室內處處殘留過往的痕跡。當年醫生闔家

居住的2樓打通隔牆，成了一處諾大的空間。館內擺設許多店長李先生蒐集的台灣以及日本各式家具和骨董，不定期舉辦音樂會等藝文活動。「鹿角枝」融合了懷舊與新潮，脫胎換骨為宜人舒適的咖啡館。

「鹿角枝」原本是一種國畫技法，曾任國畫老師的李店長為此咖啡館命名。意味著如鹿角般往各個方向展伸。

滿滿蔬菜的早午餐（附飲料），真是營養滿分！咖啡館距離孔廟徒步可至，早餐先好好補給能量，接下來就可充分享受台南觀光啦。



台南レポート—国立成功大学博物館

文 ● 服部美貴（日本語・日本文化学類／地域研究研究科 台湾大学日本語文学系講師）

11月8日午後は、国立成功大学博物館展示組組長を2019年1月まで務められた成功大学歴史学科副教授の顧盼先生に案内していただきました。

成功大学は皆様ご存知の通り1931年創立の台南高等工業学校を前身とする台湾南部の名門大学で、キャンパス内には昭和天皇が皇太子時代の植樹によるとされる大きなガジュマルの樹、日本時代の建築物と近代的な建物が共存する美しい風景が広がっています。

博物館はレンガ造りの重厚な建物です。そこには同校の創立以来の数々の史料・資料が展示されています。

「在学当時の皆さんの、生き活きとした笑顔の写真が多いんですよ。」と顧先生。既に他界した日本時代の同校卒業生を父に持つ日本の人が、父親の足跡を求めて同館を来訪した際、父親の青春の活気に溢れた写真や記録を見つけて、自分たちが知る厳格な父親のもう一つの側面をここで発見して感涙したそうです。そうした心温まる数々の逸話とともに、顧先生のお話を伺いました。

会報3号では、2019年のNHK大河ドラマ「いだてん」の主要登場人物で「柔道の父」と呼ばれ東京高等師範学校（筑波大学の前身）学長でもあった嘉納治五郎先生について書きました。2019年に筑波大学で行われていた「金栗四三と嘉納治五郎展」は、二度目の東京オリンピックとなる今年2020年にこの成功大学博物館に場所を移して「英才への道 スポーツ篇：オリンピック・運動精神」（英才之路 體育篇：奧林匹克・運動精神）というテーマで開催される予定です。この展示が始まりましたら是非皆様も当博物館を訪れてオリンピックと母校の繋がりに思いを馳せてみませんか。



台南專題報導—國立成功大學博物館

文 ● 服部美貴（日本語・日本文化学類／地域研究研究科 臺灣大學日本語文学系講師）

11月8日午後、承蒙服務於成功大學歷史系副教授同時擔任成大博物館前展示組組長的顧盼老師導覽該博物館。

眾所周知成功大學是南臺灣的名校，前身為創立於1931年的台南高等工業學校。校內矗立著據說為日治時期昭和天皇還是皇太子時代栽植的大榕樹，校園內呈現日治時代的建築和近代化建築並存的優美景觀。

博物館是一棟磚造厚實的建築。館內展示成大創校以來無數的史料和資料。

顧老師說「很多當時在校生的活潑生動照片也在展出之列呦」。有些日籍人士已故父親當年就讀於此，為了追憶父親學生時代縷縷千絲特意來到成大博物館，看到洋溢青春年少

氣息的父親照片以及過往紀錄，發現與自己所熟知的嚴父有著截然不同的一面，不盡潸然淚下。顧老師導覽同時娓娓道來這些溫暖軼事。

筑波大學第3號校友會刊曾報導2019年NHK大河劇[韋馱天]主要劇中人，被稱為[柔道之父]同時也是東京高等師範學校(筑波大學前身)校長-嘉納治五郎。而已於2019年筑波大學展出的[金栗四三與嘉納治五郎展]，預定在2020二度東京奧運年移師成功大學博物館再次舉行，展題：[英才之路 體育篇：奧林匹克・運動精神]。期盼各位校友屆時務必蒞臨博物館緬懷母校與奧運的淵源。

（譯・孫寅華 地域研究研究科 淡江大學日本語文学系講師）



筑波大学に留学して

文●王子洋（Department of Intelligent Interaction Technologies）

筑波大学に来て今年で三年目になります。修士課程から入り、今は知能機能システムの博士課程で学んでいますが、ありがたいことに筑波大学のダブルディグリーシステムにも参加しています。近年、筑波大学では博士課程の学生がもう一つの専門を持つことを大変奨励しており、一部分の専門の博士課程の学生は更に一つの修士課程でも学ぶことができるようになっています。私の例でいうと、感性認知脳科学の修士課程にも在籍して産業技術総合研究所での研究も行っています。同時に二つの専攻を学ぶことは大変な時間を要しますが、自分の視野を広げることもできます。異なる専攻のもとで広い知識を得、異なる分野における思考様式を身につけることができます。現在の多方面にわたる領域の人材が重視さ



れる時代において、二つの専攻を持つことは、将来の道でより多くの発展の機会があると考えています。（訳：服部美貴 日本語・日本文化学類／地域研究研究科 台湾大学日本語文学系講師）

筑波大學留學心聲

文●王子洋（知能機能系統専攻 博士生）

今年是我來筑波大學的第三年，我也從一個碩士生，正式的成為了博士生。除了就讀了知能機能系統専攻的博士班外，我有幸的參加了筑波大學的雙學位系統。近年來，筑波大學極度鼓勵博士學生擁有第二個專長，因此部分専攻的博士生可以報考另一個碩士課程。以我的例子來說，我另外就讀了感性認知腦科學専攻的碩士

課程，並在産業技術總合研究所中做研究。雖然同時就讀兩個専攻會花費許多的時間，但我也因此開拓了自己的視野。在不同的専攻下，我學習到了更為廣泛的知識，也具備了不同領域的思維模式。在這個講究跨領域的時代，具備了兩個専攻的能力能夠幫助我在未來的道路上，有更多發展的機會。

TIAS について

文●黃韻家（Tsukuba International Academy for Sport Studies）

TIASは日本がオリンピック開催に名乗り出た際に提出したプロジェクトの一つで、筑波大学が日本政府より委託を受け、世界各地の体育人材を育成を目的としています。英語で学ぶこの修士課程では、「オリンピックとパラリンピック教育」「スポーツと平和の発展」「スポーツマネジメント（ビジネス・政策・政府管理等）」「コーチ学」「スポーツ科学」の5つの領域の中から一つを主専攻として選択します。19か国23名の同期生のうち、日本人は5名、台湾人は私1人です。

このTIASコースで学んで18ヶ月が経ちますが、世界各地の教授や学生たちとの数々の熱い議論を経て、新しい発想を得ること

ができました。19か国の異なる文化においては体育に対しても異なる理想や考え方があり、同じ問題に対しても無数の観点があることがわかりました。このような開放的且つ自由な学術の殿堂で互いに切磋琢磨しながら学ぶことができるのは、大変貴重な経験です。また、日本がオリンピックの準備にける努力も知ることもできました。TIAS以外にも、筑波大学には世界各地からの学生が学ぶコースがたくさんあります。このような国際的なキャンパスで学んで自分の国際感覚を磨くのは大変有意義だと思います。（訳：服部美貴 日本語・日本文化学類／地域研究研究科 台湾大学日本語文学系講師）



TIAS

文●黃韻家（人間総合科学研究科體育學専攻 碩士生）

TIAS是一個日本申辦2020奧運的時候提出的計畫之一，目的在培育世界各地的體育人才，由日本政府委託筑波大學辦學。在這個全英文碩士學程中，每個人要從五項領域中選一項當作主修，五項體育領域包含：奧運與帕運教育、運動與和平發展、運動管理（商業、政策、政府管理等）、教練學及運動科學。我這屆班上有23位同學，分別來自19個國家，其中包含5個日本人，而我是唯一一位台灣學生。

來到TIAS這個學程就讀，讓我可以

在學程的18個月裡，快速地透過和各國教授和同學的討論激盪出很多新的想法。19個國家不同的文化、對體育擁有不同的理想和看法，大家對同一個問題存在著無數個不同的看法。在這樣開放、自由的學術殿堂互相切磋學習是很寶貴的經驗。也能透過日本準備舉辦奧運的籌辦過程中去一虧國際體育盛事的背後，有多少努力。除了TIAS以外，筑波大學也有很多學程有很多來自世界各地的學生，在如此國際化的校園裡，絕對是提升自己國際觀很好的選擇！

筑波大学台湾校友会親睦会 筑波大學台灣校友會共聚一堂

台北 (2019年4月26日)

2019年4月26日に台北市内のイタリア料理店に約20名が集まりました。

今回は、筑波大学から台湾に来ている交換留学生やインターン生から筑波大学2期生

に至るまで幅広い年齢と分野の台湾と日本の校友たちが、楽しく交流するととても賑やかな親睦会となりました。

2019年4月26日在台北東區一家義大利餐廳大約20人參加。

這次聯誼聚餐有來自筑波大學交換留學生以及實習生，還有筑波第2屆畢業生等，年齡層相差懸殊，不同領域的台灣和日本校友齊聚一堂相談甚歡，熱鬧非凡的一次聚會。

(譯・孫寅華 地域研究研究科 淡江大學日本語文學系副教授)



台中 (2019年11月18日)

11月18日月曜日に平日に関わらず公務の合間に駆けつけてくださった林会長をはじめ、6名（と阿部の妻）が集まって台中親睦

会を開催しました。次回また台中の皆さんとお目にかかれることを楽しみにしております。

11月18日星期一，雖然是平日的晚上，但林會長還是在百忙之中，邀請到了6名校友與我和妻子一同餐敘。很感謝台中的校友們招待，我們非常享受這場溫馨的聚會，期待有機會能再光臨台中。

(譯：林佳瑤 台灣辦事處秘書)





筑波大学
University of Tsukuba



日本マインドをもった留学生を育てるための
学士課程プログラム

入学者募集!

日本で働きたい、日本と関わる仕事がしたいと思っ
ている留学生のために、集中的な日本語と専門分野の
教育を行うJapan-Expert (学士) プログラム(4年間)
を設けました。将来、日本とあなたの国を結ぶスペシャ
リストを育てるためのプログラムです。

日本が好き 日本で学びたい 日本で働きたい

スペシャリストを応援する4つのコース

入学後、半年間集中的に日本語を学びます

日本語能力試験N3、N2で受験できます

アグロノミスト養成コース

取得学位：学士 (農学)



- 農業・林業に関する専門的な知識を身に付ける。
- <就職先・進学先>
農業・林業の分野での研究者・技術者、
日本国内、国外での就農・指導者、
グローバル企業や農業関連企業
大学院への進学など

ヘルスケアコース

取得学位：学士 (ヘルスケア)



- ヘルスケア分野の専門的な知識を身に付ける。
- <就職先・進学先>
ヘルスケア分野の政策担当者・管理者、
研究者・教師、
健康管理関連企業の開発技術者
大学院への進学など

日本芸術コース

取得学位：学士 (芸術学)



- 日本の伝統芸術を広める教師やアーティスト、デザイナー、芸術に関するスペシャリストを育てる。
- <就職先・進学先>
教師、アーティスト、デザイナー、企業、行政、自治体、
大学教員、学芸員、研究員
大学院への進学など

日本語教師養成コース

取得学位：学士 (日本語教育)



- 日本語の実践的な能力を高める。それを支える日本語・日本文化への理解を深める。
- 外国人のための日本語教師養成
- <就職先・進学先>
日本語教師養成の指導者、教師、企業、
日本国外の日本語学校
大学院への進学など

入試スケジュール

★ウェブサイトより申し込み

出願期間 / 2020年3月2日 ~ 4月3日

入学試験 / 2020年5月11日 ~ 5月15日

入学日 / 2020年10月1日

筑波大学Japan-Expertプログラム事務局

メールアドレス: jp-expert@un.tsukuba.ac.jp

ウェブサイト: https://jp-ex.tsukuba.ac.jp

★詳しくはウェブサイトをご覧ください。

2020.01.01

筑波大学台湾オフィス便り

文・阿部淳一ピーター

皆様、こんにちは。2019年4月に大庭所長と交代した阿部淳一ピーターです。会報第四号の発行、おめでとうございます。いつも皆様のお力添えをいただきながら、筑波大学側から国際室台湾オフィス担当小林ゆかり氏と陳祥氏の支えによりスタッフ林佳瑤氏とともにこれからも台湾オフィスの活動を進めて参ります。4年間で多くの功績を残した大庭先生には台湾オフィスのアドバイザーとして引き続き台湾オフィスをサポートしていただくこととなりました。先生の生活の拠点は台北からつくばに移り、私のは、約半年を台北で、もう半年はつくばの予定です。

私は、ドイツで生まれ、高校までドイツで生活していましたが、ドイツ人には私の名前の頭の部分「Jun」を「ジュン」ではなく「ユン」と発音するため、親はPeterを名前に追加しました。筑波大学には帰国子女として入学し、そのまま大学院に進み、就職もしてしまいました。現在、植物に病気を起こすカビを研

究している農学系の研究室に所属しています。専門はトリュフや松茸のように植物の根に共生する菌の生態を研究しています。妻と大学生の娘一人がいます。特に趣味はありませんが、山歩きと食べ歩きが好きです。

今、筑波大学には台湾からの留学生およそ100人が在籍しています。留学生の出身国の順位では第3位です。彼らが卒業後に本台湾校友会に根付いて今のネットワークをより充実したり、台湾で特に農学系の協定校や協定締結研究機関を増加したりすることを考えています。また、昨年度から引き続き、筑波大学は「筑波大学基金」(<https://eng.futureship.sec.tsukuba.ac.jp/prospectus/>)の寄付を校友会の皆様より集めています。台湾オフィスは今後ご質問・ご意見などを受け付けていますので、遠慮なく、お問い合わせください。

校友会の皆様のご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



筑波大學台灣辦事處

文・阿部淳一Peter

大家好。我是2019年4月和大庭處長交換駐台灣辦事處的阿部淳一Peter。恭喜會刊第四期的發行。承蒙校友會各位的支持，我與筑波大學國際處負責台灣辦事處的小林Yukari小姐與陳祥小姐，以及台灣辦事處的工作人員林佳瑤小姐才能共同合作推動台灣辦事處的活動。大庭老師在台灣辦事處擔任處長的四年多期間，留下了卓越的功績，接下來將以台大辦事處的顧問身分，繼續支持我們。大庭老師的生活從台北轉移回筑波，而我的計畫是約半年待在台北，半年回到筑波。

我是在德國出生，一直到高中以前都住在德國，因為德國人會把我的名字的第一個發音「Jun」唸成「Yun」，所以我的父母就幫我追加了Peter這個名字。我以歸國子女的身分進入筑波大學，一路讀到研究所博士班，並留下來擔任教職。現在隸屬於農學院中一個研究引發植物生病黴菌的研究室。專長是研究和植物的根部共生的菌類生態，如松露、松茸。家庭成員有太太和一位已經就讀大學的女兒，沒有特別的興趣，喜歡到山裡散步和尋訪美食。



現在筑波大學有約100位台灣留學生，在本校留學生出身國家的排名中為第三之多。期待這些留學生在畢業後參與台灣校友會，能以台灣的校友會為起點，更加充實人際網絡。另外，我特別想要增加農學院間的合作與姊妹校及共同研究機關的數量。還有，去年筑波大學開始了「筑波大學基金」(<https://eng.futureship.sec.tsukuba.ac.jp/prospectus/>)的募款計畫，今年將繼續執行，若有相關的問題和意見，請不要客氣與我們詢問。

再次感謝各位的厚愛，靜候諸位校友的指導與鞭策。



台湾オフィスの活動は、以下のウェブサイトで紹介しています。

📧 ホームページ：<http://www.global.tsukuba.ac.jp/overseas/taiwan>

📘 Facebook：<https://www.facebook.com/ut.taiwan.office/>

台灣辦事處的各项活動，請見以下網站：

📧 官網：<http://www.global.tsukuba.ac.jp/overseas/taiwan>

📘 臉書：<https://www.facebook.com/ut.taiwan.office/>

筑波大学台湾校友会規約

- 【名称】
第1条 本会は「筑波大学台湾校友会」と称する（英語名はUniversity of Tsukuba Taiwan Alumni Associationとし、UTTAAと通称する）。
- 【趣旨】
第2条 本会は、会員相互の親睦をはかり、日台両国の相互交流と友好発展に寄与することを趣旨とする。
- 【活動】
第3条 本会は、第2条の目的を達成するため、名簿作成、校友及び筑波大学との交流協力、親睦会、その他、会員が提案する活動などを行う。
- 【会員】
第4条 本会は、下記の該当者で構成する。
（1）筑波大学または前身となる大学の学群・大学院の卒業・修了者
（2）筑波大学に学位請求論文を提出し学位を認定された者
（3）一ヶ月以上筑波大学に在籍し学習・研究等を行った者
（4）一ヶ月以上筑波大学に滞在し教育・研究等に従事した者
（5）本会の入会希望者は、幹事会の定めるところにより入会の申し込みを必要とする。
- 【賛助会員】
第5条 本会の発展に多大な貢献のあった者及び本会の趣旨に賛同する者で、会長・副会長等が認める者は賛助会員となることができる。
- 【退会】
第6条 会員は個人の事情でいつでも退会できる。
- 【総会】
第7条
（1）総会はすべての会員をもって構成する。
（2）総会は次の事項について決議する。
一 会員の除名
一 会長、副会長の選任または解任
一 会則の変更
一 会計監査の承認
（3）総会は定時総会として年1回開催するほか、必要がある場合に開催する。
（4）総会は幹事会の決議に基づき会長が招集する。
（5）総会の議長は会長がこれに当たる。
（6）総会における議決権は、会員1名につき1票とする。
（7）総会の決議は総会出席者の議決権の過半数をもって行う。
（8）会員は代理人によってその議決権を行使することができる。
（9）総会への発議は幹事会を通しておこなう。
（10）総会の議事については、議事録を作成し、議長が署名押印する。
- 【役員】
第8条
（1）本会は役員として会長1名、副会長若干名、幹事長を置く。
（2）本会は名誉会長、名誉副会長及び顧問を置くことができる。
（3）会長、副会長は総会の決議によって選出する。
（4）顧問は幹事会によって選任する。
（5）名誉会長、名誉副会長は幹事会によって推薦され、総会の承認を持って選任する。
（6）会長は幹事会を組織し、本会の活動を管轄する。
（7）副会長は会長の職務を補佐し、会長が職務遂行し

- ねるときにその職務を代行する。
（8）会長、副会長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 【幹事会及び事務局】
第9条
（1）本会の運営のため幹事会を置く。
（2）幹事会の事務局を筑波大学台湾オフィスに置く。
（3）幹事会は、会長、副会長、事務局長、副事務局長若干名および事務局員、筑波大学台湾オフィス構成員より構成される。
（4）事務局長は、会長によって選任する。
（5）事務局長は、副事務局長、事務局員を選任する。
（6）幹事会は、次の活動を行う。
一 本会の活動執行の決定
一 本会の会計監査
一 事業報告書の作成
一 総会の開催
一 会員名簿の管理
一 筑波大学との連絡調整
一 会員からの意見をとりまとめ、会則、附則変更などを総会へ発議する
- 【会費】
第10条 本会の会費は附則に定める。また、総会開催など実際の活動内容に合わせ、適宜徴収もしくは厚志を募るものとする。
- 【会計】
第11条
（1）本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり12月31日に終わる。
（2）本会の会計は事務局にて管理し、幹事会はこれを監査し、総会の承認を得る。
（3）本会に納められた会費および寄付は税金控除の対象とはならない。
- 【除名】
第12条 会員が本会の目的に逸脱する行為又は本会の名誉を傷つける行為を行ったときは、幹事会の議決を経て、その資格を失う。幹事会は総会に報告する。
- 【会則の発効】
第13条 本規約は2016年2月20日に校友会設立式で可決され、2016年2月20日より発効する。
- 【規約改正】
第14条
（1）この会則は総会の議決によって変更することができる。
（2）本規約の解釈権は幹事会に属する。
- 【附則の取扱い】
第15条
（1）本会則は会則に矛盾しない限りにおいて本会の運営のために附則を置くことができる。
（2）附則は総会の議決によって変更することができる。
- 附則
1 本会の最初の会長は林華章とする。
2 本会の最初の副会長は潘進丁と邱若山とする。
- 附則
【会費】
第1条
（1）本会の入会金を1000台湾ドルとし、入会時に一度支払うものとし、終身会員となる。

筑波大學台灣校友會章程

- 【名稱】
第一條 本會名稱為”筑波大學台灣校友會”（英文名稱為University of Tsukuba Taiwan Alumni Association，英文縮寫為UTTAA）。
- 【宗旨】
第二條 本會之宗旨在於服務會員，增進會員之間的友誼，期能對台日兩國之間的國際交流有所貢獻。
- 【活動】
第三條 本會為達成第二條之目的，將致力於會員名冊的製作、校友間的以及與筑波大學之間的交流，舉辦聯誼會及會員提議之活動。
- 【會員】
第四條 本會會員由以下成員組成：
（1）在筑波大學或東京文理科學大學、東京教育大學、圖書館情報大學之大學部或研究所畢業者
（2）向筑波大學提交論文獲得學位者
（3）在筑波大學從事學習或研究一個月以上者
（4）在筑波大學從事教育或研究一個月以上者
（5）完成秘書處所訂之入會申請程序者。
- 【贊助會員】
第五條 對本會的發展做出重大貢獻及贊同本會宗旨者，經本會會長、副會長等合議後，可成為本會贊助會員。
- 【退會】
第六條 會員可自主隨時退會。
- 【總會】
第七條
（1）總會由所有的會員所組成
（2）總會將決議以下事項：
一 會員之除名
一 會長、副會長的選任或解任
一 會則之變更
一 會計監査之承認
（3）總會定期一年召開一次，必要時可加開臨時會。
（4）總會以幹事會的決議為基礎，由會長召集。
（5）總會的議長由會長擔任。
（6）總會の決議權，每位會員各一票。
（7）總會之決議須出席會員之半數以上同意始為有效。
（8）會員の決議權行使可委託代理人。
（9）總會の新議題將透過幹事會提案。
（10）總會の議事將做成會議記錄，由議長簽名蓋章。
- 【幹部】
第八條
（1）本會の幹部將設置會長1名、副會長若干名、並設置秘書長。
（2）本會可設置名譽會長、名譽副會長以及顧問。
（3）會長、副會長由總會之決議選出。
（4）顧問由幹事會推薦聘任。
（5）名譽會長、名譽副會長由幹事會推薦，總會認可後任之。
（6）會長組織幹事會，並管理本會之所有活動。
（7）副會長協助會長執行會務，於會長無法出席時，代行其職務。
（8）會長、副會長的任期二年，可連選連任。

- 【幹事會及秘書處】
第九條
（1）為維持本會的營運設置幹事會。
（2）幹事會之秘書處設置在筑波大學台灣辦事處。
（3）幹事會由會長、副會長、秘書長、副秘書長若干名、幹部及筑波大學台灣辦事處之成員所組成。
（4）秘書長由會長選任。
（5）副秘書長、幹部由秘書長選任。
（6）幹事會將執行以下之活動
一 本會活動執行之決定
一 本會之會計審查
一 事業報告書之作成
一 總會之召開
一 會員名冊的管理
一 與筑波大學之聯絡調整
一 統整會員之意見，向總會提出章程及附則變更之提案

- 【會費】
第十條 本會之會費依附則所定。另外，配合召開總會等實際活動內容之需求，得收取費用或募捐。

- 【會計】
第十一條
（1）本會的會計年度，由每年的一月一日開始至十二月三十一日為止。
（2）本會的會計將由秘書處管理、由幹事會監督、經總會認可後向所有會員公開。
（3）本會繳納之會費與捐款均無法提報列舉扣除稅額之用。

- 【開除】
第十二條 違背本會宗旨或損害本會聲譽之會員，經幹事會表決通過，提交總會議決，取消其會員資格。

- 【章程の生效】
第十三條 本章程於2016年2月20日校友會成立大會通過，自2016年2月20日起開始生效。

- 【章程修改】
第十四條
（1）本章程可依總會之決議而修改之。
（2）本章程之解釋權屬於幹事會。

- 【附則之運作】
第十五條
（1）在不與本會則相矛盾的情況下，可依本會的營運需求，設置附則。
（2）附則在總會決議後可變更。

- 附註
（1）本會最初之會長，由林華章先生擔任。
（2）本會最初之副會長，由潘進丁及邱若山先生擔任。

- 附則
【會費】
第一條
（1）本會入會費為新台幣1000元，入會時一次支付，即可成為終身會員。

編集後記

文 ● 邱若山（文芸・言語研究科 静宜大学日本語文学系教授兼系主任）

遅ればせながら筑波大学台湾校友会会報第4号をお届けします。コロナウイルス騒動でわが筑波大学校友会第5回年度大会はその煽り食って見送らざる得なかったことは残念の限りです。ようやく端午の節句を迎える前の刊行となり、六日の菖蒲とはならず安心しました（笑）。

林華韋会長、永田学長による世界の先端に行く母校のビジョンを光栄に感じます。

人物スポットは台湾版画会会長を歴任し、国家文芸賞に輝いた大先輩の廖修平氏の紹介です。

高木宏治氏の特別寄稿は恩師青木彰先生からの『司馬遼太郎からの宿題』という宿題を完成させた経緯を縷述して、陸羯南と台湾の関係を究明しています。次号の後編が待ち遠しいです。

淡江大学の内田康氏の「台湾〈競技かる

た〉世界大会への道」で述べられている、日本の伝統文化の一つである競技カルタを台湾に紹介し、種蒔き、定着させるご貢献に敬服するばかりです。

服部美貴氏は台南で林珍玖氏と顧盼氏二人の校友を訪ね、当地での校友の活躍を伝えました。

留学生便りは、王子洋さんと黄韻家さんによる新世代の学問ジャンルの紹介です。

阿部淳一ピーター先生が前任の大庭良介先生から所長を引き継がれました。

今号は日本語の原稿が多く、中国語訳担当のには孫寅華氏に記して感謝申し上げます。

来年の総会は何んの邪魔も受けることなく順調に盛大に行われることを祈念すると同時に、皆様こそってのご参加を願ってやみません。



編輯後記

文 ● 邱若山（文藝・言語研究科 静宜大學日本語文學系教授兼系主任）

預定於今年2月22日召開的筑波大學台灣校友會第五次年會，因中國武漢病毒的肆虐而停止舉行，會報第四號亦隨之延後出刊，謹此深深致歉。所幸端午佳節未到，所以並非六日菖蒲(笑)。期待各位校友的賞讀。

感謝林華韋會長與永田恭介校長的致詞。母校成為世界頂尖大學的將來願景，我們筑波出身者同感光榮。

本期人物特集介紹曾任台灣版畫會會長、獲國家文藝獎的廖修平學長的偉大成就，對台灣版畫藝術界的貢獻，以及與筑波大學的深厚因緣。

高木宏治校友的「司馬遼太郎先生給的大課題」的作業（前編）敘述其完成恩師青木彰教授留下的課題的經過。明治時期之後，對台灣的報導與論述的著名評論家廣為人知，陸羯南與台灣的关系則幾乎未被研究，期待後篇精彩的內容。

任教於淡江大學日文系的內田康校友，多年來推廣「百人一首競技紙牌」的日本傳統文化，並訓練、帶領學生團隊參加世界大賽，得到非常優異的成績，其用心與貢獻，令人欽佩。

服部美貴校友到台南與顧盼校友一同拜訪了林珍玖校友，此文充分傳達了台南地區校友的活躍。

留學生短札感謝新生代的王子洋與黃韻家兩位的文章，讓我們分享新世代的新學問的潮流。

筑波大學台灣辦事處長由阿部淳一Peter教授接任，前處長大庭良介教授仍擔任顧問，希望各位校友與辦事處有更緊密的聯繫。

本期日文原稿較多，翻譯上偏勞孫寅華學姊之處最多，特別致謝。

期待明年的大會，不受任何干擾，能夠順利且盛大的舉行，也希望校友們大力相挺，踴躍參加。



筑波大學台灣校友會會刊 第四期

編輯 邱若山、孫寅華、服部美貴、內田康、林佳瑤

封面設計 曹融

發行人 林華韋

出版人 筑波大學台灣校友會

台北市大安區長興街 81號2樓

02-3366-9313

出版日期 2020年6月24日

版權所有・翻印必究 Printed in Taiwan

照片拍攝地點



目次：大学会館前広場の
嘉納治五郎先生像



P.37：天久保池に隣接する
総合研究棟D前のループ道

廣告贊助校友：

揚雅(統豪)國際股份有限公司 黃裕益 (農林工学研究科博士1992年畢)

和友檢驗科技有限公司 莊坤遠 (農林工学研究科博士2002年畢)

國立屏東科技大學 李柏旻 (農林工学研究科博士2004年畢)

全台物流股份有限公司 張建中 (經營政策科學研究所碩士1988年畢)

全家便利商店股份有限公司 潘進丁 (經營政策科學研究所碩士1985年畢)

筑波大学台湾校友会会費、寄付金のお振込みは、以下の口座をお願いします。

帳號：玉山銀行 大墩分行 0288979138615

戶名：莊坤遠

資源整合。解決問題。創造價值。 Resource Integration. Solve the problem. Create value.

稻米生長Rice Production

水稻生產使用生物農藥
生物肥料的产品加值

Paddy rice production: The values of the rice products could be added by using the bio-pesticides and bio-fertilizers.



收穫後 Post-Harvest

水稻收穫後之處理，乾燥與精米之技術
Treatment of rice post-harvest:
Technology of Dry and Polishing.

新鮮保存 Fresh Storage

稻米低溫貯藏技術，讓米保鮮
長達36個月，讓你找到最佳的
賣點。
Low temperature storage
technology for rice:
The freshness of rice can
be up to 36 months. The
best selling price can be found and waited.



廢物回收Waste Recycle

稻殼、稻桿、米糠再利用，飼料、草繩與有機肥。
Rice shell, rice stem, and rice bran reuse:
animal feeds, string, and organic fertilizers.

循環農業4.0 Environment-Friendly Cycle

動物屎糞回收再利用 Animal Waste Reuse

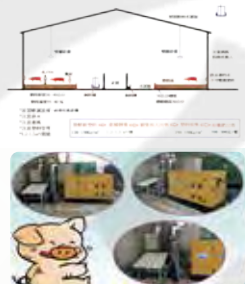
家禽、家畜屎糞回收再利用，
生物菌種生產高品質有機肥

Waste of poultry can be reused.
The suitable bio-bacteria can help to
produce high quality organic fertilizers.



廢物飼養Waste to Feed

稻殼製成墊料飼料，
科學化養殖家畜、家禽
Rice shell can be made for
litter feed, and the whole
set of the animal house or
scientific cultivation can be
delivered to Vietnam.



AI環控大數據

Artificial Intelligence, Big Data and Environment

Trend of micro profit.

微利時代

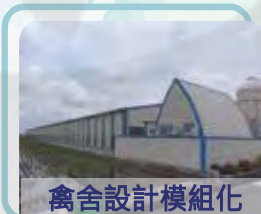
Waste reuse

廢棄物
再生利
用

綠色產業
環保、節能、
減碳、減費

源頭
管理

Source management



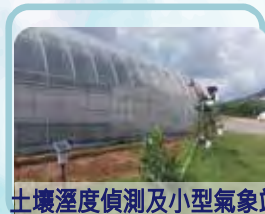
禽舍設計模組化

Composition of poultry houses



溫網室環控系統

Ecosystem control in greenhouse



土壤溼度偵測及小型氣象站

Soil moisture sensor



百葉二段式入風口

Shutter inlet (two-stage type)



智能環控數據

Environmental control system
in poultry house



食品級防疫消毒

Disinfection, Cooling
(food-grade)



大數據收集/分析

Big data analytics



土雞禽舍升級

Poultry house upgrade



智能化溫室~小番茄

Intelligent greenhouse
(cherry tomato)

智能化~整廠 規劃改建及興建諮詢



和友檢驗科技有限公司 中台科技大學環安衛分析實驗室



勞動部認可 符合 ISO 17025國際規範



感應耦合電漿發射光譜儀 - 質譜儀



原子吸收光譜儀



微波消化器



液相層析串聯式質譜儀



六位數精密天平

服務項目：

- ✓ 作業環境監測(勞動部職業安全衛生署認可)
- ✓ 職業安全衛生教育訓練(台中市政府認可)
- ✓ 職業安全衛生管理與相關技術諮詢服務
- ✓ 作業環境改善控制工程評估與規劃設計
- ✓ 化學品、重金屬、粉塵濃度分析與測試
- ✓ 檢知管直讀測定、閃火點測試
- ✓ 客製化超微量分析測試

和友檢驗科技有限公司成立於西元2017年，為台中市中台科技大學育成中心輔導之專業服務機構，以社會服務與培育專業人才為宗旨，結合職業安全衛生研究，提供專業之職業衛生管理諮詢與檢測分析服務，成立以來已獲國內製造業、食品業、運輸業等各領域事業單位委託提供服務。

和友將以職業安全衛生學術研究為後盾，提供客製化分析、環境測定與數據判讀，保障作業勞工健康。



「作業環境測定」とは「作業環境の実態を把握するため空気環境その他の作業環境について行うデザイン、サンプリングおよび分析（解析を含む）」をいい，労働者の健康確保のため、台湾と日本両国の法律で定期的な実施が義務付けられています。和友は台湾政府労働省の認可を得て、日系企業の皆様にも専門的なサービスを提供いたします。



揚雅(統豪)國際股份有限公司
YOUN YA (TURNHOW) INTERNATIONAL CO.,LTD

總公司：台中市神岡區和睦路一段590巷39號
E-mail：service.youngya@msa.hinet.net
TEL：886-4-25613559 Fax：886-4-25619807

和友檢驗科技有限公司。40601台中市北屯區廬子路666號。04-22391686。101878@ctust.edu.tw

國立屏東科技大學

National Pingtung University of
Science and Technology

🏠 <http://www.npust.edu.tw>

☎ +886-8-7740561

📠 +886-8-7740208

✉ oia@mail.npust.edu.tw

📍 1, Shuefu Road, Neipu, Pingtung 91201, TAIWAN
National Pingtung University of Science and Technology

台灣で最も美しく、緑あふれるキャンパス

國際化
Professionalization

全人化
Spiritualization

專業化
Internationalization

SINCE
1924

NPUST
TAIWAN



全台物流

股份有限公司

法治為本

企業永續經營之保障

創新為先

持續競爭優勢的原動力

誠信至上

誠信是客戶滿意之基礎

服務第一

開拓新客戶之利器

林口物流中心



大溪物流中心



八德物流中心



台中物流中心



全台物流為全家便利商店之關係企業

產業別 倉儲物流業

成立於 西元1989年

全台物流為國內頂尖之物流倉儲服務業者，
一向本著『物盡其用、貨暢其流』的理念，
透過科學化的管理與綿密的倉儲配送網絡，
提供客戶低成本與高品質之供應鏈管理服務。

全台物流以【全方位的綜合型物流中心】自許，
在作業技術上建構『常溫、恆溫、冷藏、冷凍、冰溫』
五大溫層完善之物流技術。

隨著近年來外食產業興起，公司亦提供完整之商流服務，
包含商品採購、庫存調撥及提供完整之配送服務。
同時也獲得HACCP及ISO22000：2005食品安全管理系統雙認證。

歡迎對**物流及外食產業**有興趣者**加入我們的行列！**

自2003年起，年年名列天下雜誌之百大服務業

雲林物流中心



高雄物流中心



花蓮物流中心



ISO政策



商品安全・客戶安心

理貨溫控零異常
配送溫控零異常

Let's Café
| 喝一口 美好 |

FamilyMart

濃醇

成就
完美黃金比例
就
口
感
濃
郁



Let's Café



筑波大学
University of Tsukuba



筑波大學台灣校友會
UNIVERSITY OF TSUKUBA
TAIWAN ALUMNI ASSOCIATION
10672台北市大安區長興街81號
筑波大學台灣校友會秘書處
02-3366-9313